

FFG 調査月報

We look into your eyes, lend an ear to you, and engage with you.

Top Interview

- 内藤 誠治 氏 株式会社 内藤鍛造所 代表取締役社長
- 中嶋 伸昭 氏 株式会社 カイセイ 代表取締役社長
- 中宮 修一 氏 株式会社 山鹿釣具 代表取締役社長
- 船橋 修一 氏 九州教具 株式会社 代表取締役社長

地域と共生するFFG

人 吉 日本でもっとも豊かな隠れ里

10

Season's Greeting

支店からの 便り

福岡銀行
大牟田支店

今回は、福岡銀行 大牟田支店からの秋の便りです。



※写真提供：大牟田市



世界遺産

日本近代化の原動力となった「明治日本の産業革命遺産」が、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。20世紀初頭の官営八幡製鉄所などの製鉄業を支える三池炭鉱などにも、技術の粋が結集されていました。宮原坑の第二櫓は高さ22mの鋼鉄立坑櫓と煉瓦造りの巻上機室からなり、1901年に完成、国内最古の製鉄櫓として残っています。



愛郷八詩トナリ歌トナリ。



いんど う きゅうけい
犬童 球溪

熊本県人吉市出身



geppou
最新情報を携帯からも
チェック！

1879年～1943年
(満64歳没)



更けゆく秋の夜 旅の空の…宿命の放浪者を自称した林芙美子の『放浪記』は唱歌「旅愁」の歌詞を枕に「小学校でこんな歌を習った」と、母と転々とした幼い日を回想して始まる。女流作家が切ない思いを重ねたこの歌、そして、(幾年ふるさと 来てみれば…)とふるさとを哀唱し、郷愁の詩情で対をなす「故郷の廃家」。百年にわたって日本人に愛された二つの名品の詩人こそ犬童球溪、志を抱いて郷関を出た青年の旅路の孤独が織り成す真情であった。

本名・信蔵。球溪はふるさとを貫く球磨川にちなむペンネームである。熊本県藍田村(現・人吉市)の農家に生まれ、家業をついで生涯とするはずだった少年を師範学校に学ばせ、東京音楽学校で音楽教育者を目指す人生に導いたのは向学の資質、とりわけ音楽の才能を見込んだ兄の励ましと支援であった。音楽学校に入学してわずか四か月後に訪れるその兄の死。外国曲の写譜・翻訳のアルバイトに追われる苦学が結果として名歌を生む母胎となる。

望郷の歌二編。球溪二十七歳の新潟高等女学校時代に生まれた。動機となった強い望郷の念。音楽学校を卒業して赴任した兵庫県内の旧制中学校での出来事であった。オル



第68回 犬童球溪顕彰音楽祭(人吉市カルチャーパレス) 2014年



所在地：熊本県人吉市下城本町1578-1

※写真提供：人吉市教育委員会歴史遺産課

「旅愁」「故郷の廃家」の合唱で有終を飾る顕彰音楽祭。市民に受け継がれて今年で六十九回を迎える。

「旅愁」を弾き始めると、期せずして教室は騒然となる。「西洋音楽など軟弱だ」という反発、嫌がらせである。時勢は日露戦争の渦中。音楽教師という理由だけで父兄をまじえた排斥運動まで起きた。雪降りしきるなかの傷心の新潟落ち。挫折感はふるさとを追慕する詩に昇華した。

旋律をアメリカの作品に借りた歌曲は明治四十年発行の『中等教育唱歌集』に収録され全国の教室で歌われることになる。ふるさとをこよなく愛した球溪が熊本高等女学校を経て人吉実科高等女学校の招きで帰郷するのは三十九歳の春であった。創作意欲は生涯旺盛で二百を超える作品を残した。毎年秋に開かれて個人コンクールに始まり、「旅愁」「故郷の廃家」の合唱で有終を飾る顕彰音楽祭。市民に受け継がれて今年で六十九回を迎える。



- 2 九州を知る! マンスリーコラム 50
愛郷ハ詩トナリ歌トナリ。犬童 球溪

トップに聞く!
Top Interview

- 6 鍛造一筋108年。
“環境にやさしい鍛冶屋”と
“鍛造一筋150年”を目指す。
株式会社 内藤鍛造所 内藤 誠治 氏
福岡銀行
- 12 煮蛸の加工量・シェア九州No.1。
国内外の高品質の蛸を原料に
お客様の期待に応える食品を提供。
株式会社 カイセイ 中嶋 伸昭 氏
福岡銀行
- 18 厳選した素材と職人魂が生み出す
ユーザーのための釣り竿を
世界中の釣り人へ。
株式会社 山鹿釣具 中宮 修一 氏
熊本銀行
- 24 創業以来の“社会貢献”を社是に、
ソリューション事業とホテル事業の両輪で
お客様の満足を追求しています。
九州教具 株式会社 船橋 修一 氏
親和銀行

- 36 **地域と共生する FFG**
人 吉 日本でもっとも豊かな隠れ里

- 46 九州の逸品
球磨 山江村 やまえ栗

- 50 DATA in 九州
今月の注目データ

- 52 経済動向・経済指標

- 76 見つけたアジア
マニラ

- 78 九州の達人
戸畑高等学校 応援団 60代目 団長 八田 彩水



今月の表紙



スポーツの秋

体育の日は、「スポーツに楽しみ、健康な心身をつちかう」ことを趣旨としたものです。由来は1964年10月10日に日本で初めてとなる東京五輪の開会式が行われた日を記念して1966年から国民の祝日に関する法律に基づき制定されました。2000年からはハッピーマンデー制度の適用により、10月の第2月曜日になっています。今年の体育の日は10月12日です。



今月の一枚「スポーツフェスタ」

今月の一枚は、FFG（福岡銀行）で毎年開催されている運動会「スポーツフェスタ」での一幕です。

毎回、多数の行員が参加し、チーム対抗での綱引き、ソフトボール、リレー等の競技で熱戦を繰り広げています。

当日は、選手以外の行員や行員の家族も応援に駆けつけ、競技を大いに盛り上げています。

何度も練習を重ね、優勝を目指して本番に臨む選手たちの表情は真剣そのものです。



【バックナンバーのお知らせ】「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。
<http://www.fukuoka-fg.com/>



トップ
に聞く！

たんぞう

鍛造一筋108年。

「環境にやさしい鍛冶屋」と

「鍛造一筋150年」を目指す。

株式会社 内藤鍛造所
代表取締役社長

内藤 誠治氏

取引店／福岡銀行直方支店





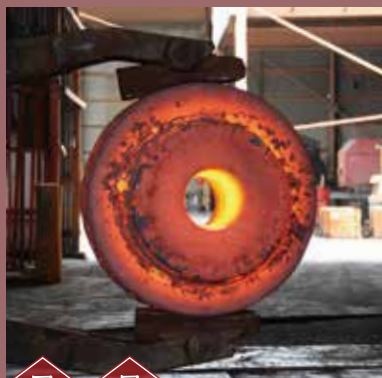
▲本社工場前(左から内藤社長、柴戸頭取)

初代の起した フィゴを用いる鍛冶屋がルーツ

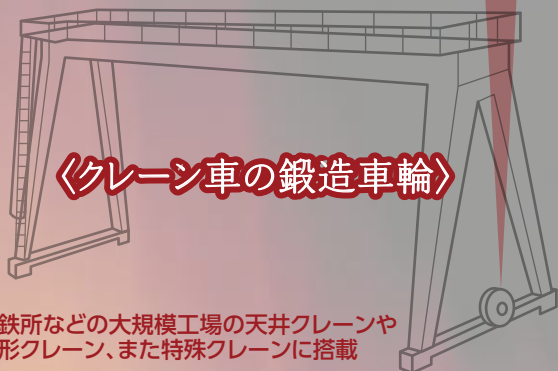
我が社の創業は、1907年（明治40年）です。初代の内藤吉太郎きちたろうが直方に起した内藤鉄工所が前身で、創業当時は炭鉱機材向けの鍛造品（銚かすがいやボルト等）の製造を行っていました。以来、鍛造一筋で、今年で創業108年になります。

我が社の歴史を少し紹介しますと、内藤家はもともと黒田藩士の家系でした。明治維新後、吉太郎の父・義郎は福岡の舞鶴城下の西公園下で米屋を始めましたが上手くいかず、1887年（明治20年）に倒産しました。そこで義郎は「筑豊は炭鉱景気で賑わっているそうだ。お前たちもどこか働くところがあるに違いない。弟二人を連れて、何か職を探してくれ」と、当時15歳だった吉太郎に言ったそうです。吉太郎は、二人の

している主な鍛造部品

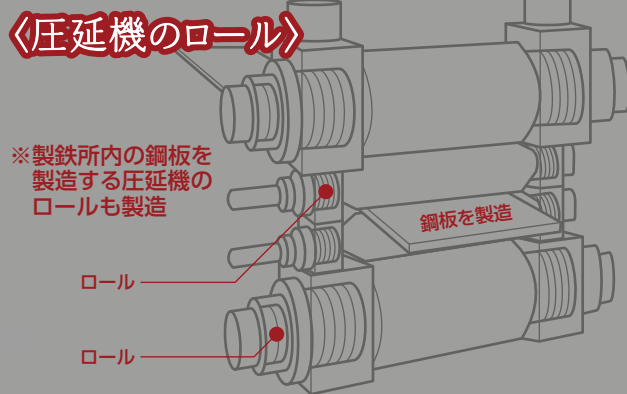


製 造 風 景



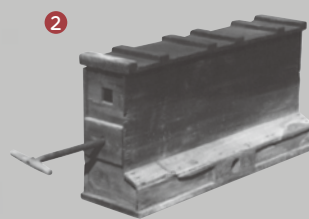
《クレーン車の鍛造車輪》

※製鉄所などの大規模工場の天井クレーンや橋形クレーン、また特殊クレーンに搭載



《圧延機のロール》

思い出の写真



①初代の内藤吉太郎氏
②今も大切に保管されているフィゴ



弟の手を引いて八木山やきやまを越えて、たどり着いたのが直方でした。当時の直方には、筑豊の各地にあった炭鉱向けの機械加工場や修理工場が数多くあり、吉太郎はその中の一つである鍛冶屋に住み込みで働き、鍛冶職人となって腕を磨いていったそうです。

その後1907年（明治40年）、吉太郎は独立すると、フィゴ（※1）を調達して鍛冶屋を始めました。これが内藤鍛造所のルーツである内藤鉄工所です。

（※1）手足で風を送り、火をおこす器具

大型設備の導入により、 内藤鍛造所が誕生

1927年（昭和2年）、吉太郎の子・研一は、吉太郎の勧めで中学を卒業後すぐに近くの鉄工所で働き始めました。研一は日の出から日没まで、とにかくよく働いたそうです。しかし研一は指の



怪我を機に鉄工所を辞め、吉太郎の下で仕事をするようになります。

研一は吉太郎から仕事を任されるようになった後、大型切断機やハンマーなどの設備や、当時直方ではどこも導入していなかった重油炉（バッチ炉（※2））の導入を他社に先駆けて行うなど、積極的に規模の拡大に取り組み、1962年（昭和37年）には工場移転を機に株式会社内藤鍛造所を設立するなど、我が社の基礎を築いてくれました。

その後、研一の後を引き継ぎ、1982年（昭和57年）に研一の子・博俊（現・会長）、2009年（平成21年）に剛（故人）が社長となり、その後、2010年（平成22年）、博俊の長男である私が5人目の社長に就任しました。

（※2）一定量の鋼材を一括して加熱する炉。炉床が固定式で、鋼材を横に出し入れする

内藤鍛造所で製造

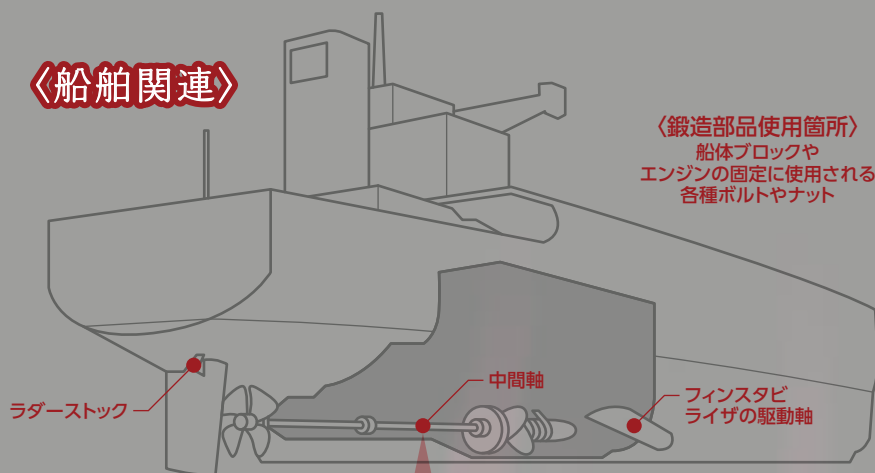


▲見学風景



▲現場に立つ内藤社長（右）

〈船舶関連〉



製 造 風 景

鍛造によって 船舶と産業機械の部品を製造

我が社は、金属の鋼塊を炉で1,250℃まで加熱し、鍛造油圧プレス等によって形を変えつつ強度を高めて、鍛鋼品にしています。製品の半分が「船舶」向けで、残り半分が「産業機械」向けです。

「船舶」向けでは主にスクリューのシャフトや、ターボエンジン用のシャフト、船の航行時の揺れを抑える減揺装置（フィンスタビライザ）のシャフト等を製造しています。船舶の部品は、各国の船級協会から認定を受けた工場で、それぞれの規格に合わせて製造することが必要ですが、我が社では、各国の規格に適合できるよう、様々な固さや粘りを持つ素材を取り揃えており、日本・中国・韓国等の世界主要8カ国の船級協会から認定を得ています。これだけ多く

の国から認定を受けている工場は国内でも少なく、現在世界の新造船の5隻に1隻は我が社の製品が使われるなど、我が社は船舶分野で圧倒的な強みを発揮しています。

もう一つの主力分野である「産業機械」向け製品の代表例としては、製鉄所等の中で使用される車両やクレーン等に使わ

れている車輪なども製造しています。

2,000トンのプレス機の導入で、業務の幅を拡大

我が社の強みは、数キロから最大5トンまでの幅広い鍛造品を製造することです。また、大きさの異なるローリングミル（リング専

門の鍛圧機械）を備え、様々な大きさのリング製造が可能なことも、この業界では稀なことで、我が社の強みとなっています。

また今年、2,000トンの鍛造油圧プレス機を導入しました。これによつて最大15トンまでの鍛造品を製造することが可能になりました。この2,000トンクラスのプレス機は、中小企業とし

ては九州最大規模であり、我が社の大きなセールスポイントとなります。

更に、他社では部品の検査を外注することが多い中、我が社では社内に検査部門を有し、専門資格を持った複数の社員が検査に当たするため、お客様から品質保証面で高い評価を頂いています。

福岡・筑豊の地で目指す

鍛造業150年の未来

現在注力しているのは、導入した2,000トンの鍛造油圧プレス機の早期戦力化です。今まで我が社では対応できず、他社へ回していた5トン以上の鍛造品の製造も引き受けることができるようになり、業績アップに貢献しています。

またベテランから若手への技術継承にも注力しています。我が社ではプレス部門のグループ





リーダーを全て30代の若手社員にスイッチし、ベテランがサポートする体制を整えたほか、ひとりで複数のポジションを担当できるようにするため、ジョブ・ローテーションも実施しています。今後は新卒の技術者採用を検討しています。

更に、「環境にやさしい鍛冶屋」を目指し、環境に配慮した工

場づくりに取り組んでいます。既に、太陽光発電（0.4メガワット規模）が2014年（平成26年）から稼働中で、今後も炉の燃料をCO₂排出量の少ない天然ガスに順次切り替えるほか、より省エネを推進できる技術の導入も進めています。

人材育成や設備の拡充等、この福岡・筑豊の地で、「鍛造一筋

150年」を実現できる体制づくりに専心することこそが私の使命だと思っていますので、将来も海外進出は一切考えておりません。同時に地元で事業を継続発展させることで、地域の雇用の維持拡大にも貢献したいと思っています。



▲最前列左3番目から内藤会長、内藤社長、柴戸頭取、大里支店長(福岡銀行)

◎インタビューを終えて

当社は、明治40年の創業以来、今日迄、常に将来を見据えて環境変化への対応を怠らず、108年もの間鍛造一筋で筑豊の産業を支えておられます。

世界中で建造される大型船舶の5隻に1隻は当社の製品が使われているという実績が、当社の技術力の高さを示しています。

今後も人材育成や設備拡充への積極的な取り組みを継続され、次は150年企業を目指して、更に発展されることを期待しています。



福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成



トップに聞く！

煮蛸^{にだこ}の加工量・シェア九州NO.1。
国内外の高品質の蛸を原料に
お客様の期待に応える食品を提供。

株式会社カイセイ
代表取締役社長

中嶋 伸昭氏

取引店／福岡銀行 古賀支店





▲本社工場前(左から中嶋社長、柴戸頭取)

煮蛸のシェアは九州でNo.1

我が社は、1994年(平成6年)に創業し、蛸の加工を専業で行っています。主に煮蛸を冷凍・チルドにして、九州一円と中国地方のスーパーマーケット等の量販店や各魚市場に卸販売しています。特に地元九州ではシェアNo.1を誇っており、ほぼすべての量販店に納入しています。消費者の皆様が量販店で手にするボイル加工された蛸は、すべて我が社が取り扱った蛸と言っても過言ではないでしょう。

良質のアフリカ産のタコを輸入してボイル

我が社が取り扱う蛸の特徴は、アフリカのモーリタニアやモロッコ沖で蛸壺漁^{たつぼ}によって水揚げされた一級品であることです。モーリタニアやモロッコ沿岸には、サハラ砂



美味しい蛸ができるまで



▲見学風景

漠から吹く貿易風が引き起こす湧昇流^{ゆうしやうりゅう}(※1)によって、蛸のエサとなる貝類や甲殻類が豊富に存在しており、足太で身の引き締まった蛸を漁獲することができます。

また、現地では蛸壺に入ってくる元気で強い蛸を一匹ずつ獲る、蛸壺漁^{たつぼり}を行っており、獲った蛸は船上で活^{いきしめ}めされ、鮮度を保ったまま冷凍工場へ搬送されます。

私も現地の魚市場に行つて、蛸の味を確認するほか、品質や値段、漁獲量などの情報をリアルタイムで入手し、仕入れの交渉まで行っています。時には現地の漁業関係者に有利な条件で取引することもありますが、それは漁業関係者との信頼関係を構築するためです。その結果、現地の漁業関係者が有益な情報を提供してくれるため、常に状態のいい蛸を仕入れることができます。

また、国産の蛸にこだわるお客様も多くいらっしゃるから、福



岡、長崎、大分、山口県産の蛸も豊富に取り扱っています。設立時に年間15トンだった国産蛸の加工量は、今では年間400トンにまで増加しています。

(※1) 海洋深層水が表層近くへ湧き上る現象。栄養塩の豊富な深層水が、光の届くところに運ばれるため、食物連鎖の源となる植物プランクトンが大量に繁殖し、良好な漁場を形成する。

バリエーション豊富な蛸製品をラインアップ

蛸料理と言えば、刺身や鰯種を思い浮かべる方が多いと思いますが、人気の高い「味付け蛸」を筆頭に、「蛸のバジルオイル漬け」「蛸のカルパッチョ」「蛸の梅しそ風味」「蛸リング和風おろし」「蛸のもろみ漬け」「蛸の唐揚げ」「生足パック（真空パック）」など、バリエーション豊富な蛸製品を取り揃えています。現在も消費者ニーズ

バリエーション豊かな蛸料理

蛸の梅しそ風味



蛸 飯



蛸の唐揚げ



蛸ともやしのガーリック炒め



蛸と大根の煮付け



蛸と梅のチャーハン



蛸の温玉サラダ



蛸チヂミ



蛸ときのこのパスタ



国産の真蛸



に合致した新製品を生み出すべく、更なる開発に取り組んでいる最中です。

月1回・年1回の

消費者直販イベントが大人気

我が社の蛸は卸販売が中心ですが、毎月1度（毎月最後の水曜日）、一般の消費者向けの直販イベント「やつ水曜^{すいよう}市（安いよ市）」を開催しています。この直販イベントでは量販店に出荷できないキズ製品を安く提供しています。キズ製品と言っても味や品質には問題なく、それを安価で購入できることもあって、来場されたお客様には大好評で、売り切れ品が続出します。最近開催した直販イベントでは、平日にもかかわらず大勢の消費者の方々にご来場いただき、工場に繋がる国道が渋滞するほどの賑わいでした。近隣にお住まいの方はもちろんのこと、他県

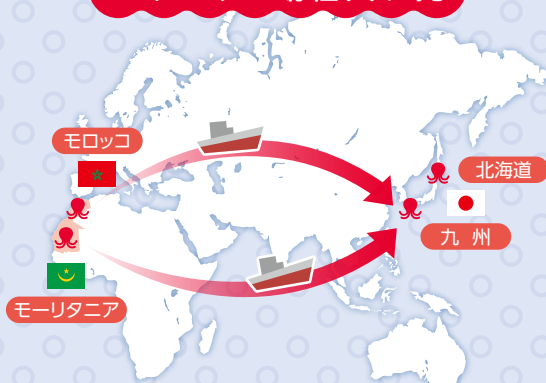
※社名は、青い海に雲ひとつない青い空が広がり「快晴」であることに由来しています

ナンバーの自動車も多く見受けられ、遠方からも毎月楽しみに来ていただけるようになりました。

また、年に一度、本社・工場が立地している食品加工団地内で開催される食の直販イベント「古賀モノづくり博・食の祭典」も好評を得ています。私が食品加工団地内の企業の方に声を掛け企画したイベントですが、古賀市の協力もあって、今年で4年目を数えました。今では古賀市を代表する人気イベントとして定着しています。



カセイの蛸仕入れ先



足太で身の引き締まった一級品のアフリカ蛸を仕入れています！



▲中嶋社長

こうした直販イベントは、消費者の方から新製品に対する感想などの生の声を聞くことができる貴重な機会でもあり、その声を今後の製品づくりに反映させていきたいと思っております。

「ISO22000」認証取得

我が社では、「高品質で安心・安全な食の提供と、お客様に喜んでいただける製品づくり」をモットーに、工場内での一貫生産体制により高品質・低価格製品を生産しています。その生産過程は、仕入れて冷凍保存していた蛸を12時間かけてゆっくりと解凍するところから始まり、水洗い、塩揉み、ボイル加工、冷却、冷凍庫保管を経て、出荷に至ります。

このような一貫生産体制だからこそ、鮮度抜群の煮蛸を自信を持って卸販売できるわけです。

また、食品を扱う企業として

当然ですが、安全面・衛生面にも気を付けています。昨年は念願であった食品の安全マネジメントシステムの国際規格「ISO22000」の認証を取得しました。我が社の食品安全マネジメントシステムが公的に評価されたことに大きな誇りと責任を感じています。

現在は、工場における「ISO22000」の徹底運用による安全面・衛生面の強化に注力するとともに、品質の更なる向上と省エネルギー化を目的に設備の更新にも積極的に取り組んでおり、コージェネレーションシステム(※2)の導入、空調設備の最新鋭化、工場内照明のLED化は既に完了しました。今後も排水処理施設や電気関係設備の更新を積極的に実施していきます。

(※2)発電時に出る排熱を利用して給湯や空調等をまかなうエネルギーの効率的運用システム



▲左4番目から安部営業部リーダー、谷口工場長、中嶋社長、柴戸頭取、三善支店長(福岡銀行)

目指すは オリジナル製品の充実と 販路拡大

水産物のおいしさを消費者に伝え、消費拡大につなげることが、私たち水産業に携わる者の使命だと思っています。そのため、まずは蛸の販売拡大に向けて、今後も新たなメニューの開発を強力に推進します。さらにオリジナル製品のラインナップを充実させつつ、現在の販売ルートに加えて、インターネットを活用した販売を行うことも計画しています。

また蛸以外の水産物にも目を向け、今後消費拡大が見込める製品づくり、そして海外への販路の構築を含む販売体制の確立に取り組み、一人でも多くのお客様に我が社の製品をお届けできるよう、全社をあげて邁進して参ります。

◎インタビューを終えて

豊かな漁場で育った高品質な蛸を一匹ずつ丁寧に加工されるところを拝見しますと、当社の蛸製品づくりにかける熱い思いと美味しさが伝わってきました。

最近、常に新たなメニューを開発することで、蛸の魅力を引き出す一方、安全面・衛生面の強化等にも格段の力を入れておられます。

これからも、高品質で安心・安全な蛸を中心とした水産物を、多くの家庭へ届けられることを期待しています。



福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成



トップ
に聞く！

厳選した素材と職人魂が生み出す ユーザーのための釣り竿を 世界中の釣り人へ。



株式会社 山鹿釣具
代表取締役社長

中宮 修一氏

取引店／熊本銀行 武蔵ヶ丘支店



竹下頭取
釣具メーカーから独立し
て創業されたそうですね。



中宮社長
私は大手釣具メーカーの
工場長をしていたのです

が、「釣り人の思いに応えるロッド
（釣り竿）を自らの手で作りたい」
と考え、1989年（平成元年）、
熊本県山鹿市で独立し、釣り竿
製造の会社を創業しました。

創業当初は、試行錯誤を繰り返
しながら自社オリジナル製品の
開発に取り組む一方で、売上を確



▲本社工場内(左から中宮社長、竹下頭取)

保するため大手メーカーの下請けを行っていました。しかし受注が多かったのは最初の5、6年だけで、2000年代半ばになると日本の大手メーカー各社が人件費の安い中国などの海外に生産拠点を移したため、我が社の売上は激減しました。

大手メーカーの下請けを専門とする同業者が次々と廃業する中、我が社は下請けから自社ブランド製品の製造に本格的にかじを切り、2008年(平成20年)に純国産を掲げた「YAMAGA Blanks(ヤマガブランクス)」というブランドを立ち上げました。

「YAMAGA Blanks」の「Y」をお聞かせください。海外でも人気のようです。

「YAMAGA Blanks」は「軽く、使いやすく、壊れにくく」そんなロッドのブランドです。



フルオーダーメイドの
高級釣竿ブランド
“*Ripple Fisher*”



軽く、使いやすく、
壊れにくい ロッドブランド
“*YAMAGA Blanks*”

ロッドの強さと
丈夫さが
違います！



カーボンシートの裁断



ロッド名などを印刷する



カーボンシートを芯金に張り合わせる

原材料も作り手も純国産で、そこには強いこだわりをもっていきます。ロッドの原料であるカーボンシートを切り分けることから始まり、そのシートを鉄製の芯に巻いての窯焼き、表面の研磨、塗装といった各製造工程は、すべて熟練の職人が手作業で行っています。大手釣り竿メーカーは、人件費の安さを求めて海外に生産拠点を移しました。しかし、私は「繊細な感覚で細部まで神経が行き届く日本の職人が作る釣り竿が世界で負けるわけがない。釣り人は本物を分かってくれる」と信じ、純国産で勝負しました。いざ海外でも人件費が上昇するであろうとの目算もあつての勝負でした。

「原材料も作り手も純国産で、そこには強いこだわりをもっていきます。ロッドの原料であるカーボンシートを切り分けることから始まり、そのシートを鉄製の芯に巻いての窯焼き、表面の研磨、塗装といった各製造工程は、すべて熟練の職人が手作業で行っています。大手釣り竿メーカーは、人件費の安さを求めて海外に生産拠点を移しました。しかし、私は「繊細な感覚で細部まで神経が行き届く日本の職人が作る釣り竿が世界で負けるわけがない。釣り人は本物を分かってくれる」と信じ、純国産で勝負しました。いざ海外でも人件費が上昇するであろうとの目算もあつての勝負でした。」

「販売当初は、卸売業者や大手販売店などから値引きを持ちかけられることが多かったのですが、私は自社製品の性能に自信を持っており「値引きをせずとも買ってくれるお客様は必ずいる」と信じていましたので値引きには応じずに販売を行いました。販売開始後、釣り愛好家の口コミ等により「YAMAGA Blanks」の性能の高さが広まっていき、今では注文をひっきりなしに頂けるようになりました。現在では約40人の職人がいますが、それでも生産が追いつかず4カ月から半年お待たせしている状態です。今では海外でも好評で、欧米はもちろん、中東、東南アジアなどからも注文いただいています。」

「カーボンブランド「Ripple Fisher(リップルフィッシャー)」についても教えてください。」

「Ripple Fisher」は、フルオーダーメイドの高級釣り竿ブランドとして1994年(平成6年)に立ち上げました。竿の長さやグリップの形状など機能にかかわる

様々なフィールドで活躍しています



世界の釣り好きが
愛用する純国産の
ロッドです！

部分はもちろん、塗装も細かく注文することができ、釣り人一人ひとりのこだわりを最大限取り入れることができる製品です。納品には数カ月かかりますし、金額も多少割高で、定価は6万円、オプションの追加によって10万円近くになることもあります。性能だけでなく、自分専用という喜びが釣り人の所有欲を満たしてくれるからこそ、支持される製品になっていると思います。

このブランド立ち上げのきっかけは、鹿児島県の屋久島の漁師からの依頼でした。「大型のカンパチを釣り上げるロッドがない。市販のロッドではみんな折れてしまう。このカンパチを釣り上げられるロッドを作って欲しい」と言われ、早速試作品を送ったところ、「見事釣り上げることができた。」との報告を受けました。それから、試作ロッドの性能に驚いた地元漁師から次々と注文が寄せられ、

さらに評判は一般の釣り人へも広がりました。そして累計1千本を超える大ヒット製品となり、ついに全国区のブランドになりました。

車に例えると、「Ripple Fisher」が持ち主の好みに合わせ、かつ高い性能を追求したスーパーカーで、もう一つのブランド「YAMAGA Blanks」は、「Ripple Fisher」で培った技術を活かした量産車と言えます。

「YAMAGA Blanks」が多くのお客様に支持されているのは「Ripple Fisher」生産で積み重ねたノウハウがあったからこそだと思っています。

最後に、将来展望をお聞かせください。

これまで性能の高さがお客様から支持されて売上を伸ばしてきました。しかし、日本は人口減

▼鹿児島県の種子島で釣り上げたロウニンアジ



▼マレーシアで釣り上げたトーマン



▲営業統括の娘・由香利さん。写真は製品テストで訪れた鹿児島県十島村(トカラ列島)にて釣り上げた25kgほどのキハダマグロ

少に伴い釣り人口も減少傾向にあり、今までの延長だけでは成長にも限界があります。そのため、現在新たな分野の開拓にも取り組んでいます。その一つが欧米で人気の高いフライフィッシング(※)用ロッドへの挑戦です。フライフィッシングは国内にも多くの愛好家はいますが、まだまだ欧米に比べると人数は少なく、欧米での市場規模は日本と比べものにならないほどの大きさです。来
年以降、ヨーロッパではスウェーデンにあるヨーロッパN.O.1の卸問屋との取引を足がかりに、そしてアメリカでは知り合いの店からコツコツと販売を進めていく考えです。

もう一つは、釣りとは違う分野ですが、スキーストックの製造にも注力していきます。実はロッドもスキーストックも基本的に製造方法は同じです。ロッドの持つしなりや丈夫さがストックにも応用で



きるので、試作品は高い評価を受けました。多くの需要が期待でき、
 そうなので、製品の精度を上げ、
 第2の主力製品に育てていきたい
 と考えています。
 最後に、我が社の原点は「釣
 り」にありますので、これからも釣

り人の思いをしっかりと受けと
 め、それに応えることで釣り人に
 とつての「夢の一本」をつくり続け
 ていきたいです。
 (※)フライフィッシング…欧米式の毛針
 (フライ)を使う釣りのこと。

▼青森県津軽海峡、竜飛崎で釣り上げたクロマグロ40kg



▲前列左4番目から平井支店長(熊本銀行)、中宮社長、竹下頭取、中宮専務

◎インタビューを終えて

釣り人一人ひとりのこだわりに応えようと、熟練の職人が一品一品丁寧に作られている製造風景を拝見し、釣り好きが信頼を寄せ、何ヵ月待ってでも欲しいがるということに得心がきました。

創業以来、海外に生産を移すことなく地域に根ざしながら、「YAMAGA Blanks」や「Ripple Fisher」をはじめとする純国産の自社ブランドを開発し、今日では全国区の釣り具メーカーへと成長されています。

質の高い製品を、世界中の愛好家に届けられ、益々発展されることを期待いたします。



熊本銀行
取締役頭取 竹下 英



トップに聞く！

創業以来の「社会貢献」を社是に、
ソリューション事業とホテル事業の両輪で
お客様の満足を追求しています。

九州教具株式会社
代表取締役社長

船橋 修一氏

取引店／親和銀行 大村支店
福岡銀行 長崎支店

創業時は文具店だったと
伺っています。



船橋社長 我が社は、本田文具店が前
身で、1946年（昭和21

年）の創業になります。創業者は現
会長（本田嘉彦^{よしひこ}）の父 本田嘉末^{かすえ}
です。嘉末は戦前、朝鮮の日本学校
で校長を務めていました。しかし、
終戦後、日本に帰国しても教員職
の働き口はなく、実家から近い大
村湾で、海水から塩を生成する塩
づくりで資金を貯めた後、文房具



店を始めました。そこには、やはり教育に携わりたいという嘉末の強い思いがあったのでしょうか。

昭和20年代後半、日本で

は全国に学校図書館をつ

くる活動が盛んにな

りました。しかし、

盲学校の点字図書館

はほとんどありませんで

した。嘉末は目が見えない全

ての子どもたちに本を読んでも

らいたいと思い、点字図書館をつ

くる支援を始めました。その方法

はオリジナルの鉛筆をメーカーに

製造してもらい、全国の学校に委

託販売して、利益を点字図書館建

設に充てるという「愛の鉛筆運動」

です。この活動は全国に広がり、そ

の資金を基にいくつもの点字図書

館が建設されました。製造・販売

委託元として在庫と回収のリスク

をすべて引き受けるために、本田文

具店を「九州教具 株式会社」とい

う会社組織にしました。



▲ホテル プリスヴィラ波佐見の前(左から船橋社長、吉澤頭取)

創業者・嘉末の想いは、我が社の社是である「誠實^{せいじつ}にして正確を旨とし 社会に貢献すべし」として、今でも脈々と受け継がれています。

事業の一つ、「ソリューション事業」詳しくお聞かせ下さい。

創業時からしばらくは官公庁や学校などに主に教材や文具を販売していました。OA時代へと社会が移行すると、パソコンや周辺機器などを商材として扱うようになりました。

実は、私は1988年（昭和63年）にアルバイトとして入社しました。入社後、倉庫の商品管理課に配属されたのですが、当時、すでに在庫管理システムなどを販売していたにもかかわらず、自社ではそうしたシステムを活用していませんでした。どんな会社でも、こうし

た矛盾や解決困難な課題があるはずです。そこにこそ、ビジネスチャンスがあるのではないかと直感しました。

そこで私は、「お客様のかかえる課題を解決するソリューションの提供」を事業の柱にすることを考え、社長（現会長の本田嘉彦）にレポートを提出しました。レポートには社長の経営を非難するような内容も含まれていたため、不安もありましたが、それを読んだ社長は否定せず、それどころかアルバイトから正社員に昇格させ、「自由に営業してこい」と言ってくれたのです。そうしてできたのが現在のソリューション事業部です。今日では学校・官公庁・一般企業などのお客様へ、コピー機やプリンター・パソコン・OA、ICT機器などの販売やメンテナンス、またホームページの製作から活用、ネットワークの構築まで幅広く提供しています。



ツインルーム



ロビー



田園風景



ホテルブリスヴィラ波佐見

もう一つの事業がホテル運営。
 まったくの異分野進出ですね。

社会構造が変化していく中で、本業の事務機器等の販売だけではなく、違う事業の柱が必要だとの考えは、会長も私も一致していました。そこで目を付けたのがホテル業です。ホテル業こそ究極のサービス業であり、ソリューション事業との協業が実現できると考えて事業化に着手しました。

1996年(平成8年)に長崎で売りに出されていたホテルを購入して営業を開始。これが「ホテルビュー長崎出島(当時はホテルビュー長崎)」です。赤字がしばらく続きホテル業から撤退も考えたのですが、更なるチャレンジとして、長崎駅前に土地を購入して「ホテルウイングポート長崎」を1998年(平成10年)に新築開業しました。ホテルウイングポート長崎は、インターネット

環境を整えたホテルとしてオープンしたところ、これが大きくヒットしました。そこで、ホテルビュー長崎出島をリニューアルし、当時としては珍しい光ファイバーによる高速インターネット回線を配したホテルとして稼働させることで、黒字化に成功しました。

その後、長崎市内に3つ目となる「ホテルクオーレ長崎駅前」を2005年(平成17年)にオープンしました。いずれも「長崎に、なくてはならないホテル」をスローガンに掲げ、お客様と良好な関係を創り上げるホスピタリティに溢れたホテルづくりを目指しています。

今年は陶器の町・波佐見町にもホテルをオープンさせたそうですね。

これは我が社が、FFG主催の「北九州ビジネス商談会」にホテ



提携温泉



朝食会場



茶室ギャラリー

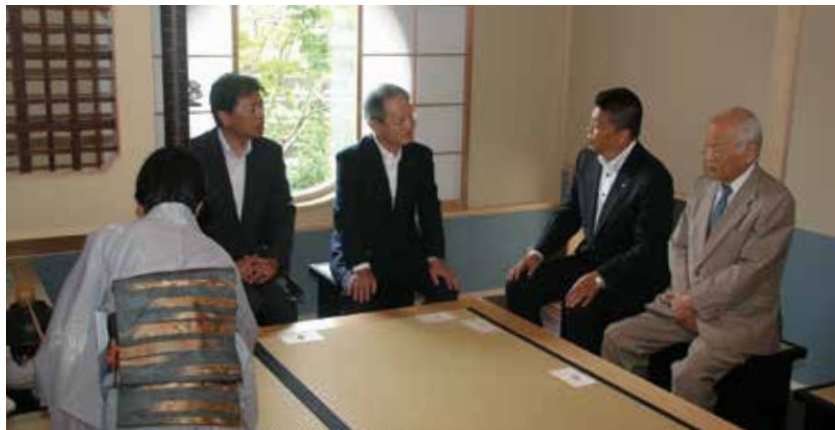




▲古澤頭取



▲船橋社長



▲茶室にて。対談風景

長崎市内で3つのホテルを運営中

〈ホテルベルビュー長崎出島〉



総客室数
201室

▲長崎県庁隣りに立地。全館禁煙でクリーン

〈ホテルウイングポート長崎〉



総客室数
200室

▲全室Wi-Fi環境完備! 駐車場にEV車急速充電設備あり

〈ホテルクオーレ長崎駅前〉



総客室数
161室

▲JR長崎駅正面。女性専用フロアあり



2つの事業のコラボで生まれた効果、また注力点や今後の展望などをお聞かせください。

このホテルは近隣の温泉や飲食店とタイアップし、レジャー、研修におすすめの体験型ツーリズムのプログラムを充実させています。

「ITインフラを充実させた、仕事と遊びをシームレスに楽しめる新しいタイプのホテル」「ホテルブリスヴィラ波佐見」をオープンしました。

ル事業のブースを出していたとき、波佐見町役場の方と偶然にお会いしたことがきっかけです。波佐見町にはホテルが無く、進出してくれる業者を探し続けてきたというお話を伺い、町を活性化させたいという役場や地域の方々の熱い思いに打たれ、出店を決意しました。そして本年2月、「しごとと湯とリゾート」をコンセプトに、

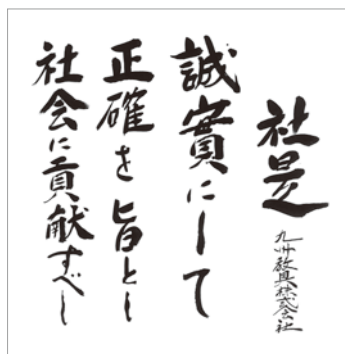
ソリユーション事業の製品をホテル事業に取り入れ実践することで、先進的なサービスを提供することが可能になりました。例えば、宿泊者がパソコンを所持していなくてもクラウド上に置かれたデータをプリントアウトできる「パブリックプリント」をホテルのロビーに導入し、好評をいただいています。

逆に、ホテルで実践・検証した結果をもとにソリユーション事業で顧客提案に厚みを持たせることもできました。防犯システム为例にとれば、当ホテルで成果を上げている防犯カメラの設置・運用ノウハウをソリユーション事業部が顧客に提案することで満足度の向上に繋がっています。

注力点としては今、「それぞれがライフステージに合わせた働き方を選択できる職場環境」の整備を図るワークライフバランスを推進しており、併せてダイバーシ



▲前列左端から引地支店長（親和銀行）、本田会長、吉澤頭取、船橋社長、船橋副社長



▲創業者 本田嘉末 筆

ティ（多様な人材を積極的に活用しようという考え方）の実践によって働きやすい職場づくりに取り組んでいます。今後は、ソリューション営業の実践、CS（顧客満足）向上を目指した人材育成にも傾注していく計画です。

今後も2つの事業が問題解決ノウハウとプロセスを共有することとお客様の満足度の向上を図り、今期のスローガンである「文化の時代型・ビジネスインフラ創造カンパニー」へ、またその先の「永続する企業」へと邁進したいと考えています。

◎インタビューを終えて



親和銀行
取締役頭取 吉澤 俊介

「ホテル ブリスヴィラ波佐見」は情緒豊かな波佐見の町にぴったりです。落ち着いた内装や充実したインターネット環境があり、仕事で長期滞在する人が多いことにも大変納得致しました。

FFG主催の北九州ビジネス商談会での成果が実を結び、大変喜ばしい限りです。

ホテル事業とソリューション事業が連携し、充実したサービスをお客様に提供していけることを期待致します。

トップに聞く

会社概要

ふくおかフィナンシャルグループでは、
ブランドスローガンである

「あなたのいちばんに。」

の実践に引き続き努めてまいります。



古賀の芝生で汗にまみれ

みんなでつなぐ楕円球

己を盾に球を出し

敵陣深く突き進め

ラグビー魂永遠に

おお

One for all All for one

われら福銀ブルーグループス

福岡銀行 ラグビー部





株式会社 内藤鍛造所

創業百余年、鍛造一筋に歩んでまいりました。我が社は、金属の鋼塊を炉で1,250℃まで加熱し、鍛造油圧プレス等によって形を変えつつ強度を高めて、鍛鋼品にしています。主な製品は「船舶」向け製品と「産業機械」向けの鍛造部品です。今年は2,000トンの鍛造油圧プレス機を導入し、最大15トンまでの鍛造品が製造可能になりました。今後も、福岡・筑豊の地で鍛造一筋に150年目を迎えられるよう、努力を続けてまいります。



- 創業：1907年
- 設立：1962年
- 所在地：福岡県鞍手郡
- 資本金：1,000万円
- 従業員：24人
- 事業内容：
船舶や産業機械向けの
鍛造部品製造
- 事業拠点：
(本社・工場)福岡県鞍手郡

■ 取引店： 福岡銀行 
直方支店
0949-22-1300



壺漁により漁獲する一級品のアフリカ蛸

株式会社 カイセイ

蛸の加工を専業で行っており、主に煮蛸を冷凍・チルドにして卸販売しています。営業エリアは九州一円から中国地方にわたり、特に九州ではシェアNo.1です。取り扱う蛸は、アフリカのモーリタニアやモロッコ沖で蛸壺漁によって水揚げされた一級品です。また、福岡、大分、長崎、山口県産の国産蛸も豊富に取り扱っています。今後も高品質で安心・安全な食の提供と、お客様に喜んでいただける食品づくりに努めてまいります。



国内外から良質の蛸を
仕入れ、ボイルしています。
唐揚げやカルパッチョ等
バリエーション豊富な
蛸食品も好評です!



- 創 業 : 1994年
- 設 立 : 1994年
- 所 在 地 : 福岡県古賀市
- 資 本 金 : 3,000万円
- 従 業 員 : 30人
- 事業内容 :
煮蛸の加工及び販売
その他水産物販売
- 事業拠点 :
(本社・工場) 福岡県古賀市

- 取 引 店 :  福岡銀行 
古賀支店
092-943-3361



株式会社 山鹿釣具

熊本県山鹿市で、釣り具(主に釣り竿)を製造しています。原材料も作り手も純国産にこだわった自社ブランド製品の「YAMAGA Blanks」は、性能の高さから釣り愛好家のあいだで評判となるなど、主力製品となっています。今後も、釣り人一人ひとりのこだわりに応えるため、熟練の職人が一品一品丁寧に製造し、釣り人にとっての「夢の一本」をつくり続けます。



- 設立: 1989年
- 所在地: 熊本県山鹿市
- 資本金: 1,000万円
- 従業員: 49名
- 事業内容: 釣り竿等の製造販売
- 事業拠点:
(本社・工場) 熊本県山鹿市
- グループ:
有限会社リップル



- 取引店: 熊本銀行 武蔵ヶ丘支店
096-339-3131



九州教具 株式会社

戦後間もない1946年に教材・文具の卸売業からスタートし、今はオフィス機器関連のソリューション事業部とホテル事業部の2事業体制で展開しています。ホテル事業部では、長崎市内に3つのビジネスホテルを運営し、本年2月は波佐見町に「ホテル ブリスヴィラ波佐見」をオープンしました。これからも、2つの事業が問題解決ノウハウとプロセスを共有することでお客様の満足度の向上を図り、永続する企業へと邁進してまいります。



- 創 業：1946年
- 所 在 地：長崎県大村市
- 資 本 金：6,000万円
- 従 業 員：200名
- 事業内容：文具・事務機器販売業、ホテル業
- 事業拠点：
 - (本 社) 長崎県大村市
 - (支 店) 長崎県長崎市
 - 長崎県佐世保市
 - 長崎県諫早市
 - 北九州市小倉北区
 - (営業所) 福岡市博多区
 - 長崎県東彼杵郡波佐見町
 - (ホテル) 長崎市内…3店舗
 - 長崎県東彼杵郡波佐見町…1店舗
- 取 引 店：親和銀行 大村支店 0957-52-2111



日本でもっとも豊かな隠れ里

人吉

Hitoyoshi



日本遺産認定

熊本県南部に位置する人吉は、市街の中心を球磨川が流れています。

人吉では、観光列車「田園シンフォニー」「SL人吉」などの列車旅が楽しめます。

また、5月30日には「人吉鉄道ミュージアム ^{モゾカ} MOZOCAステーション868」がオープンし、鉄道の魅力を多くの人に発信しています。

観光列車、球磨川下り、温泉など、魅力いっぱいの人吉へ、出掛けてみませんか。

寄稿：人吉市 経済部観光振興課





観光列車、ひとよし温泉、 球磨川下りなどを満喫

人吉でとっておきの旅をしたいなら、観光列車がおすすです。くま川鉄道の観光列車「田園シンフォニー」(前頁写真参照)は、「ななつ星in九州」をプロデュースした水戸岡鋭治氏デザインの列車です。車内は人吉球磨産ヒノキをふんだんに使用し、額縁をモチーフにした窓から見える風景はまるで動く絵画のようです。観光列車としては一日一本運行し、人吉温泉駅〜湯前駅まで約1時間かけて旅を楽しめます。「田園シンフォニー」は、予約制の観光列車以外に、通勤や通学などの一般普通列車としての運行もしています。

さらに、熊本駅〜人吉駅間には「SL人吉」が11月23日までの概ね月・金・土・日・祝日に1日1往復しています。車両は1922年(大正11年)に日立製作所で製造されたSL58654号機です。1975年(昭和50年)に廃車後、1988年(昭和63年)に「SLあそBOY」として復活し、2005年(平成17年)に再度引



- ① 車内には展望ラウンジやミュージアムがある「SL人吉」。車窓には球磨川の美しい風景が広がる
- ② 美人の湯でも有名な「ひとよし温泉」。モダンからレトロまで様々な温泉が楽しめる
- ③ スリル満点の「球磨川下り」。冬場はコタツ舟も運航する

退しましたが、肥薩線全線開通100周年に合わせて、2009年(平成21年)に「SL人吉」として復活運行を開始しました。「SL人吉」の客室には、展望ラウンジがあり、最後尾ではパノラマ・ビューが楽しめます。球磨川を眺めながら、ゆったりとした列車の旅を満喫できます。

また、人吉は歴史ある温泉地でもあります。球磨川沿いを中心に温泉が点在し、源泉は80を数えます。市内には温泉旅館のほかに公衆温泉浴場も20数軒あります。お湯が柔らかく、美肌効果が高いことから女性に人気です。

そして、人吉に来たらぜひ体験して欲しいのが、日本三急流のひとつ球磨川を木舟で下る「球磨川下り」です。所要時間に応じたショート・ミドル・ロングコースのほか、スリル満点な激流コースがあり、船頭の熟練された舵取りや人情にふれることができます。(要予約)

休日、人吉でゆっくりと旅を満喫してみませんか。

鉄道の魅力が詰まった

ミュージアムが誕生！

人吉市が建設を進めてきた「人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868」が、今年5月30日にJR人吉駅西側にオープンしました。

同施設は、1909年（明治42年）11月に開通し、今もなお当時の姿のまま現役で稼働している肥薩線の文化的価値を多くの人に知ってもらうこと、鉄道の魅力を伝えることを目的として誕生しました。また、市では肥薩線の世界遺産登録を目指して事業を進めていますが、同施設は肥薩線の世界遺産登録推進運動の拠点となるものです。

ネーミングは「かわいい」を意味する球磨弁の「もぞか」から付けられました。施設のデザインと監修を担当したのは、「ななつ星in九州」をはじめJR九州の観光列車などのデザインで知られる鉄道車両デザインの第一人者・水戸岡鋭治氏です。

円形で木造2階建ての施設は木のぬくもりがあふれ、楽しい仕掛けがいっぱいです。人吉駅からMOZOCAス



人吉鉄道ミュージアム

MOZOCA STATION 868

テーションまではミニトレインが運行し、
1階は肥薩線をはじめとする鉄道紹介のゾーン、子どもが楽しめるゾーン、
カフェ、2階はミニ図書館や学習コーナーなどがあります。2階の屋外と3階の屋上からは、目の前に石造りの機関車庫が見えます。

MOZOCAステーションは肥薩線の世界遺産登録に向けた情報発信の拠点として、子どもも大人も市民も観光客も楽しい時間を過ごせる空間として、まだどこにもない未来の駅を目指します。





[2]



[3]



[1]

MOZOCAの 魅力を内外に発信！

MOZOCAステーションがほかの鉄道博物館と違うところは、SL人吉をはじめ本物の列車を目の前で見ることができるところです。場所は、国内で唯一といわれる石造りの機関車庫の目の前。列車本体の展示はありませんが、肥薩線を行き来する“生きた展示品”を備えています。

肥薩線という地域の宝を未来につないでいくためには、次代を担う子どもたちに鉄道に興味を持ってもらうことが重要です。鉄道を身近に感じてもらう仕掛けがいろいろの館内は、いつも子どもたちの笑顔があふれています。人吉では数少ない、雨の日でも安心して遊べる施設としても人気です。

今後は肥薩線やくま川鉄道の企画展示など様々なイベントが計画されていますので、ぜひお越しください。



[8]



[7]



Information

人吉鉄道ミュージアム MOZOCA ステーション 868

電話／0966-48-4200

住所／熊本県人吉市中青井町343-14 (JR人吉駅西側)

開館時間／午前9時～午後5時

休館日／毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

料金／入館料無料、ミニトレイン(片道)100円、レイルバイク(1回)100円

駐車場／JR人吉駅前広場駐車場利用(20分以内無料、60分毎100円)

※近隣の店舗などへの無断駐車や路上駐車は絶対にしないでください ※就学前の子どもは必ず保護者同伴で入館してください

※ペット同伴での入館はできません ※ごみ箱は設置していませんので、ごみはお持ち帰りください



[1] 人吉駅とMOZOCAステーションを結ぶミニトレイン。雨の日は館内を周回する [2] 水戸岡氏デザインの観光列車をはじめ、九州を走る列車がずらり [3] 実際に肥薩線などで使用されていた物品が展示されたコーナー [4] 子ども用の机と椅子が並ぶ「こども工房」 [5] 大畑駅のループ線とスイッチバックを再現したジオラマ [6] ミニトレインに乗っているとSL人吉が見られるかも [7] 木でできたボールが入った「木のブール」など子どもたちの遊び場がいっぱい [8] 休憩スペースもおしゃれ [9] 2階のデッキからの眺め。SL人吉が止まる機関車庫は目の前だ [10] 鉄道グッズのコーナーも [11] 子どもが伸び伸びできる空間





人吉球磨の歴史・文化が 文化庁の日本遺産に認定

4月24日、人吉球磨地域の歴史・文化をつなぐストーリーが日本遺産に認定されました。日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語る「ストーリー」を認定するもので、文化庁が今年度から創設した制度です。

認定されたストーリーは「相良700年が生んだ保守と進取の文化」。鎌倉時代から約700年間にわたってこの地域を治めた相良氏は、ウンスンカルタや球磨焼酎といった民衆の文化を守りながら、寺社の建築様式などに新しい文化を取り入れてきました。現在も多くの文化財や風習が大切に受け継がれていて、ストーリーは41の有形・無形の文化財で構成されています。

人吉球磨10市町村では、今後これらの文化財を整備・活用し国内外に発信していきます。



上／願成寺の仏像。領主相良氏の菩提寺の第一で、江戸時代は郡内の宗教世界を束ねる地位にあった格式高い寺院。裏に代々当主の墓が集められた相良家墓地がある中／相良氏は水量が豊富な球磨川を交通および米や木材などの物資の輸送に利用した

下／臼太鼓踊り。相良氏による武道奨励・土気鼓舞を目的に始められたとされる踊り。現在も郡内各地で伝承されている



国宝 青井阿蘇神社。
領主相良氏の保護を受け、江戸時代には人吉藩領内の総鎮守として藩主・民衆の信仰を集めた神社

日本遺産の構成文化財（人吉市内の代表的なもの）

井口八幡神社／人吉温泉／青井阿蘇神社とおくんち祭／ウンスンカルタ／老神社／人吉城跡／大信寺／願成寺と相良家墓地／岩屋熊野座神社／球磨焼酎／人吉球磨の民謡／焼酎墓／球磨拳／庚申信仰と庚申塔／相良三十三観音めぐり／球磨神楽／臼太鼓踊り／球磨川

※人吉市だけでなく球磨郡9町村にある多くの文化財群がストーリーの構成要素となっています



FILE No.21

九州の「地域ブランド」をご紹介します。

熊本県最南端の人吉、球磨地域にある人口4,000人足らずの山江村。この地域の名産「やまぐち栗」は一般の栗より大粒で糖度が高く、艶があり中央の市場ではブランド品（超高級栗）として取引されています。最近では、「ななつ星in九州」や「JALファーストクラスのデザート」などにも使われています。

栗は古代から消化、吸収のよい健康果実として日本人の生活の中に親しまれています。

主な成分はデンプンで、豆・芋類と比較してデンプン粒子が細かく上品な口当たりと風味が饅頭や羊羹などお菓子、料理に重要な素材です。

地域と
共生する
FFG



存在感と豊かな甘さ

球磨山江村
やま元栗



K
熊本銀行

FFG行員による
自作自演
ポスター
No.5

あなたもスキ♡だらけ

被害者の9割以上は女性です。

後方から近づいてくる「バイク」や「自転車」に気をつけましょう！

新インターネットバンキング お茶の子 サイサイ!!

NEW!

新しく生まれ変わった!
インターネットバンキング

熊本銀行
ダイレクト
バンキング

スマホでも
カンタン
便利!





DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「外国人によるレンタカー利用数(福岡空港周辺)」と「トンネルの数」です。



外国人によるレンタカー利用数(福岡空港周辺)

検索



トンネルの数

検索

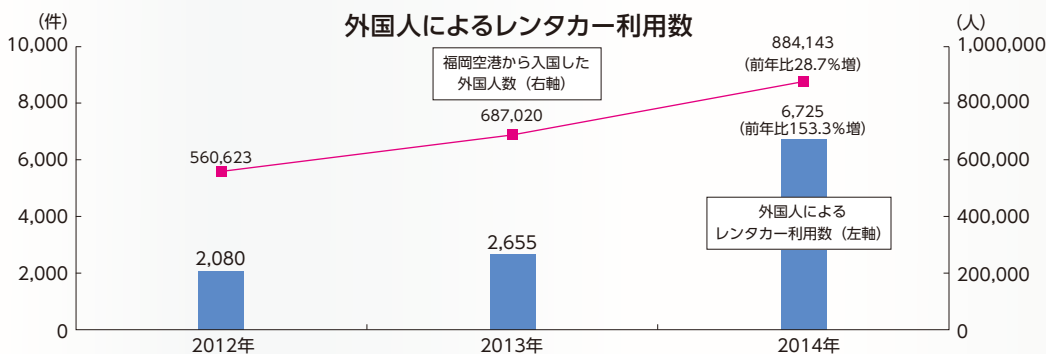




「外国人によるレンタカー利用数（福岡空港周辺）」

九州の空の玄関口・福岡空港周辺でレンタカーを借りる外国人旅行者数(同空港周辺の主要5社調べ)を見てみると、2014年は6,725件(前年比 約153.3%増)と急増しています。この急増の背景には、円安による訪日外国人の増加に加えて、官民をあげた「レンタカー旅行誘致」策の効果もあります。九州運輸局では、外国人のレンタカー旅行の拡大を目指して、2014年から九州の各自治体、九州観光推進機構、西日本高速道路(株)、レンタカー事業者等と連携して海外でのプロモーション活動に取り組んでいるほか、外国人が利用するレンタカーは九州の高速道路が定額で乗り放題になるプランも実施しています。

また、福岡県レンタカー協会によると、国別の統計はないとのことでしたが、外国人利用者のうち約半数が韓国人とみられ、過去にツアーなどで九州を訪れた観光客が次の旅行では行動範囲を広げるためレンタカーを借りているようです。



(出所:「福岡県レンタカー協会資料」および「法務省入国管理局資料」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



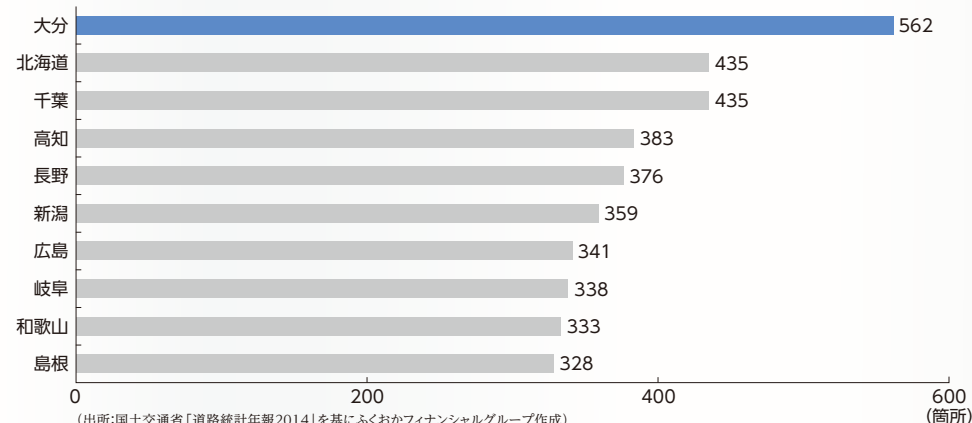
トンネルの数

今月は普段何気なく通っているトンネルの数を調べました。都道府県別にトンネル数(※)を見てみると、最も多いのは大分県です。特に大分県竹田市は別名「レンコン町」と呼ばれるほどトンネルが多いことで有名です。竹田市は山間に開けた盆地に位置しているため、トンネルをくぐらなければ市内に入ることができないようになっています。

現在の大分県は交通の便がずいぶん良くなっていますが、昔は交通路の確保に多大な苦勞があったようです。

江戸時代、諸国巡礼の旅の途中に耶馬溪(大分県中津市)を訪れた禅海和尚が、ノミと槌だけで30年もの歳月をかけて掘った「青の洞門」は有名です。ここは紅葉の名所としても知られており、これからのシーズンにトンネルを通して訪れると素敵な景観に出会うことができます。

トンネルの数



(出所:国土交通省「道路統計年報2014」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)
(※)自動車及び歩行者用の道路トンネルを指す。鉄道用のトンネル等は含まない。

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかに回復している

福岡県の景気は、緩やかに回復しています。

生産は、クレーン等が増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、主力の衣料品に動きが見られた他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

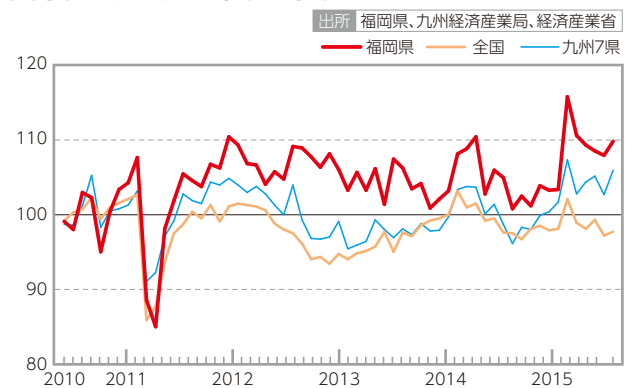
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は109.9と前月比1.8%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車等の生産が減少した輸送機械が低下したものの、クレーン等が増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

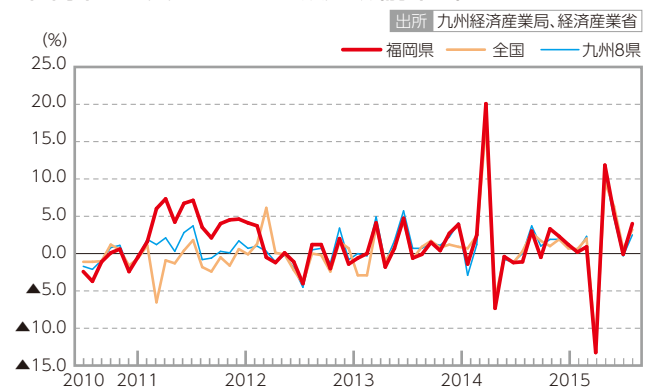


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.0%増の614億円となりました。

夏物セール開始等により、主力の衣料品に動きが見られた他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



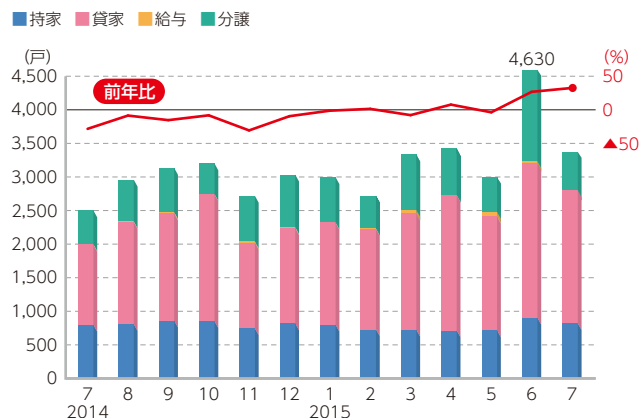
3.住宅建設 | 好調に推移している

7月の新設住宅着工戸数は、3,399戸と前年同月比34.9%増加しました。

「貸家」「分譲(マンション)」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



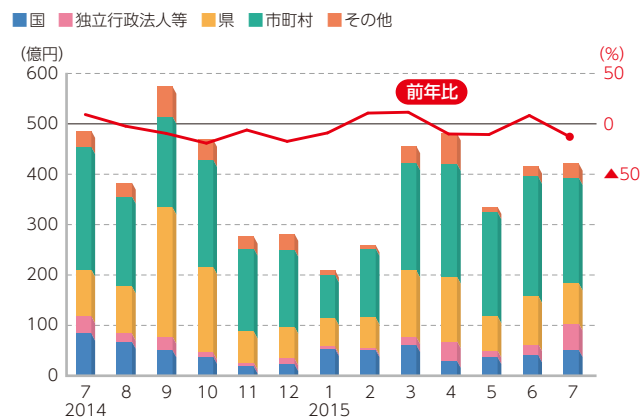
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比15.6%減の737件、金額が同13.4%減の424億円となりました。

発注者別では、ETC設備更新工事の大型案件があった「独立行政法人等」以外は大型案件に乏しく、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



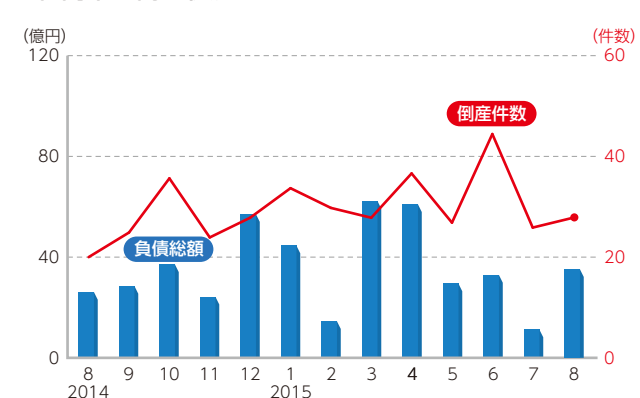
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%増の28件、負債総額は同34.8%増の約35億円となりました。

不動産管理業で約9億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかに回復している

熊本県の景気は、緩やかに回復しています。

生産は、特殊産業機械が増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、飲食料品が堅調に推移する等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回った結果、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

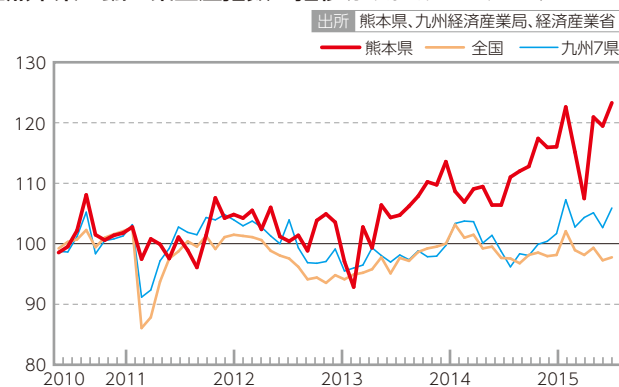
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は123.7と前月比3.3%上昇しました。

主要業種では、集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下したものの、特殊産業機械が増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

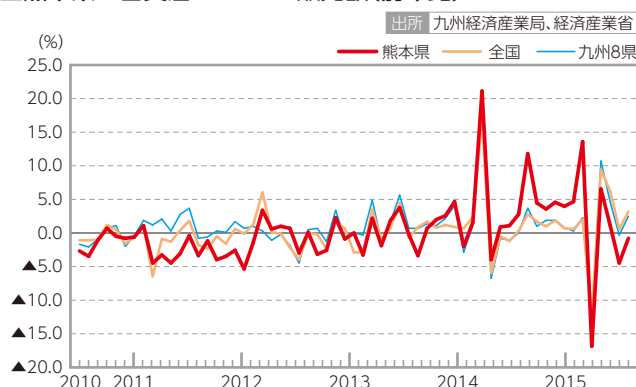


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.9%減の144億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により夏物衣料が振るわず、また今年2月の百貨店閉店の影響もあり前年を下回りましたが、主力の飲食料品が堅調に推移する等、個人消費は底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



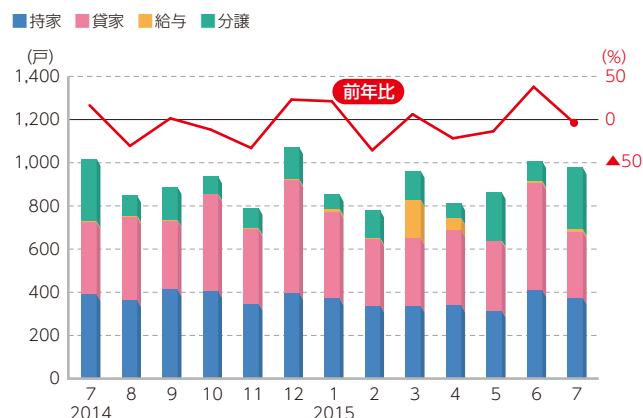
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.0%減の986戸となりました。

「分譲(戸建)」は前年を大きく上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回った結果、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



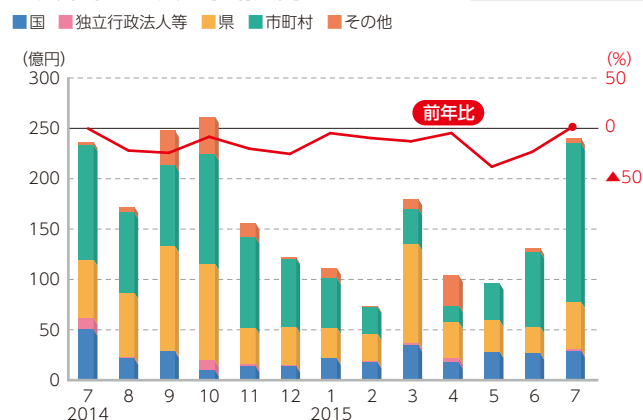
4.公共工事 | 14ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比14.9%減の526件、金額が同1.5%増の242億円となりました。

発注者別では、ごみ処理施設の大型案件があった「市町村」や、「その他公共的団体」が前年を上回り、全体でも14ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



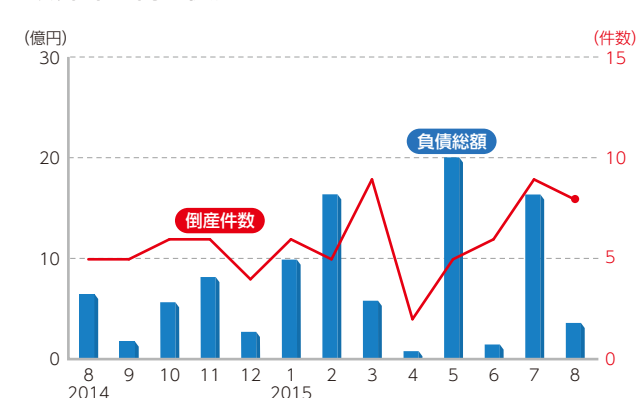
5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比60.0%増の8件、負債総額が同44.6%減の約4億円となりました。

輸入卸売業で約1億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、底堅く推移しています。

生産は、新造船が増産となった輸送機械が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「分譲」が前年を大きく下回った結果、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

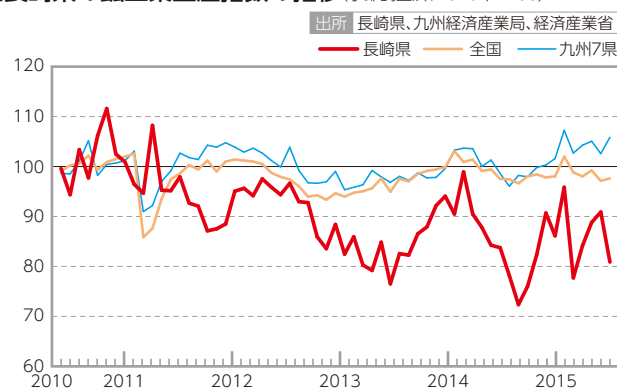
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は80.8と前月比11.1%低下しました。

主要業種では、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下したものの、新造船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

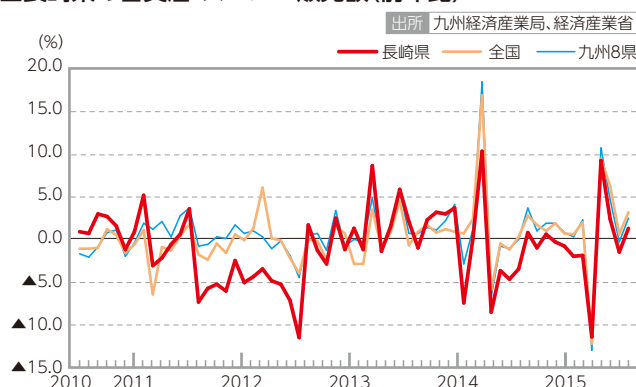


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.3%増の104億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





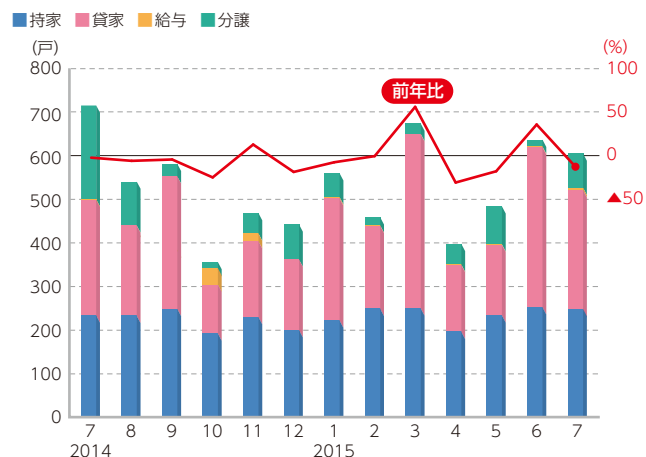
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比15.4%減の609戸となりました。

「分譲」が前年を大きく下回った結果、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



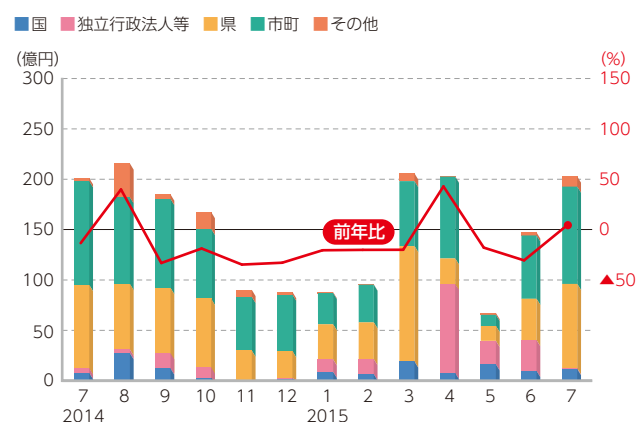
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比2.6%増の561件、金額が同0.8%増の205億円となりました。

発注者別では、橋梁整備工事等の発注があった「県」や、「国」「その他公共的団体」が前年を上回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



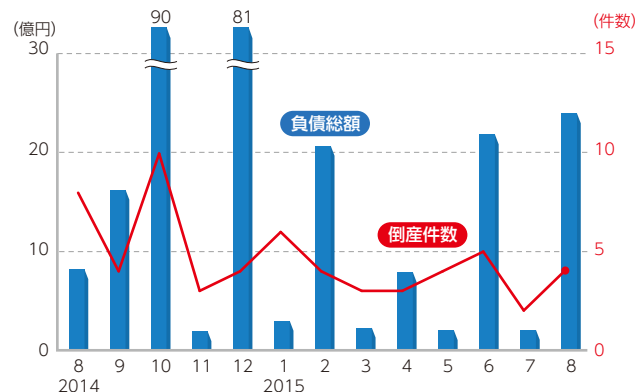
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比の50.0%減の4件、負債総額は同約3倍の約24億円となりました。

ホテル業で約13億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

佐賀県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

生産は、入浴剤の生産が増加した化学が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。個人消費は、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、「分譲(マンション)」が前年を大きく上回り、全体でも3ヵ月連続で前年を上回りました。

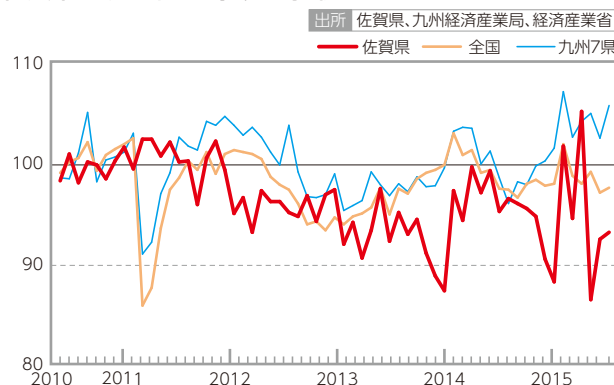
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.2と前月比0.8%上昇しました。

主要業種では、土木建設機械の生産が減少した一般機械や、工船が減産となった輸送機械が低下したものの、入浴剤の生産が増加した化学が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

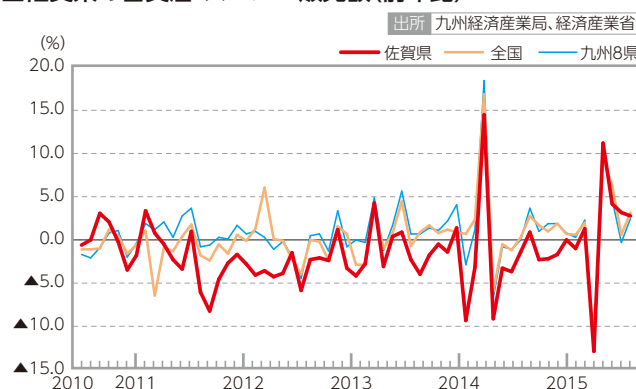


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.8%増の56億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品や、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





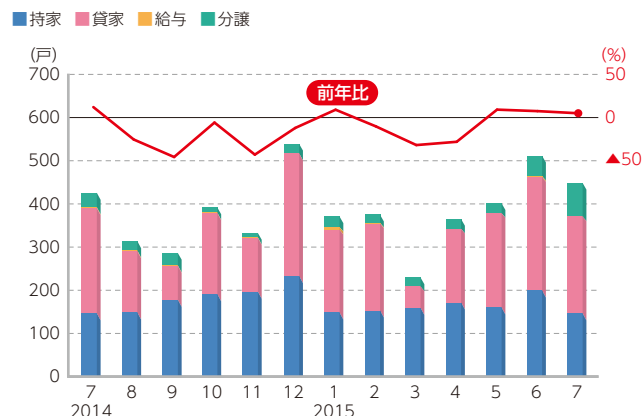
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、456戸と前年同月比5.3%増加しました。

「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「分譲(マンション)」が前年を大きく上回り、全体でも3ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



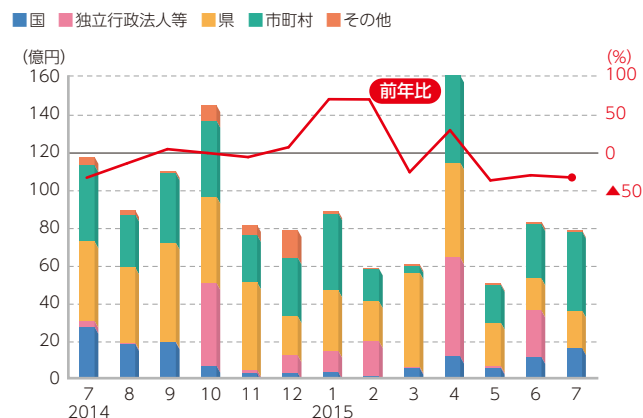
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比20.8%減の232件、金額が同33.2%減の79億円となりました。

発注者別では、市営住宅建替工事等の発注があった「市町村」以外は大型案件に乏しく、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



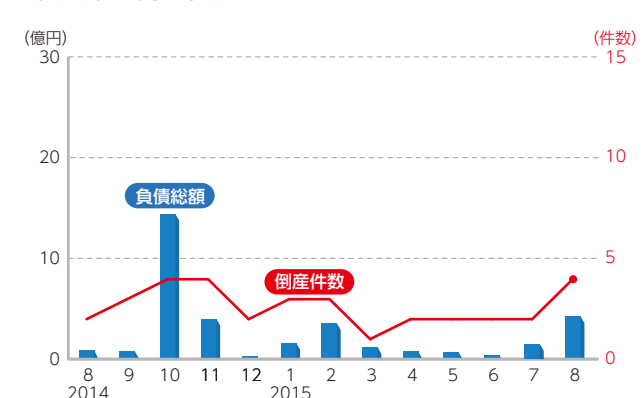
5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の4件、負債総額が約4億円となりました。

負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

大分県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

生産は、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「貸家」「分譲」等が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

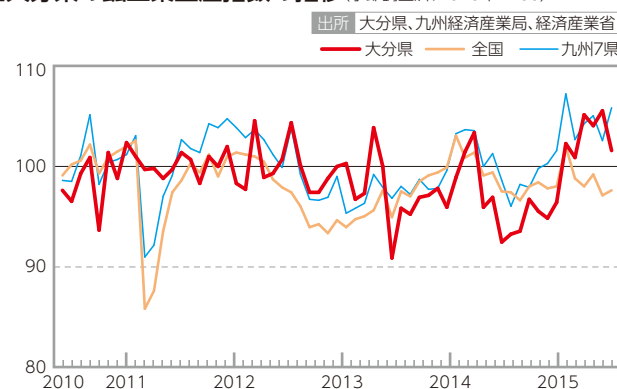
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は101.7と前月比3.8%低下しました。

主要業種では、医療用機械器具が減産となったはん用・生産用・業務用機械が低下したものの、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、生産は持ち直しの動きが続いています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

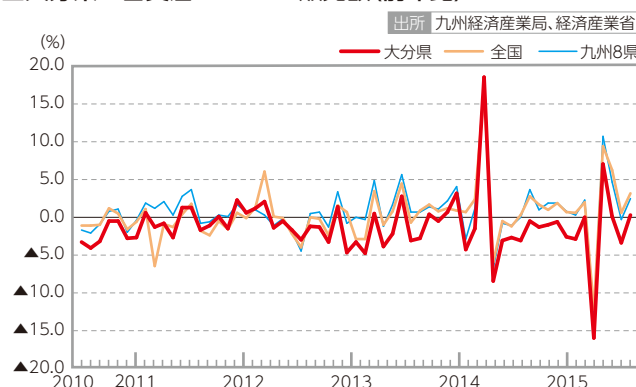


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.3%増の101億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





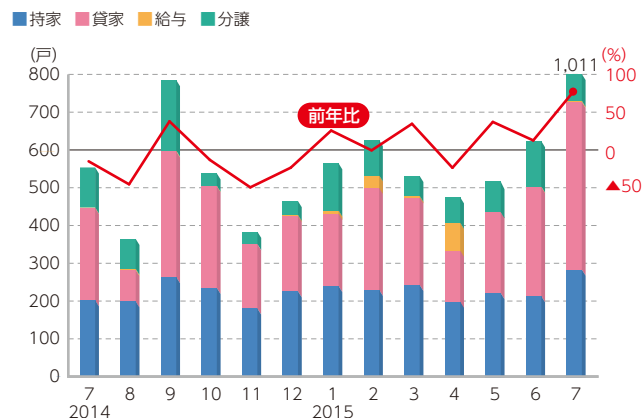
3.住宅建設 | 好調に推移している

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比80.9%増の1,011戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」のすべてにおいて前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



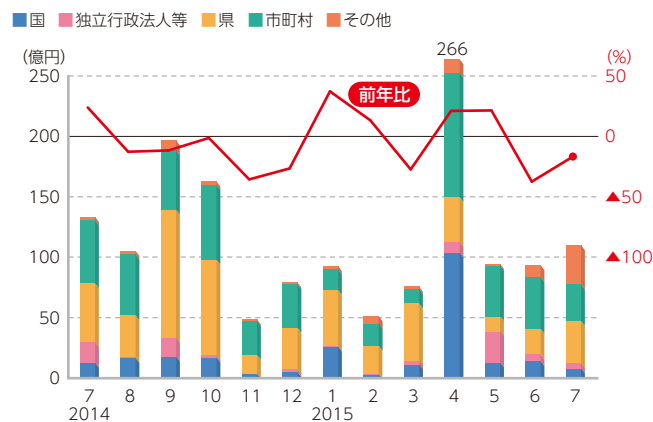
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比21.2%減の297件、金額が同17.5%減の111億円となりました。

発注者別では、畜産関連施設の大型工事があった「その他公共的団体」以外は大型案件に乏しく、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比25.0%減の3件、負債総額は同88.0%減の約1億円となりました。

採石業で約1億円の倒産が発生しましたが、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、持ち直しの動きが続いています。

生産は、焼酎が増産となった食料品が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。個人消費は、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「持家」「分譲(マンション)」が前年を下回った結果、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

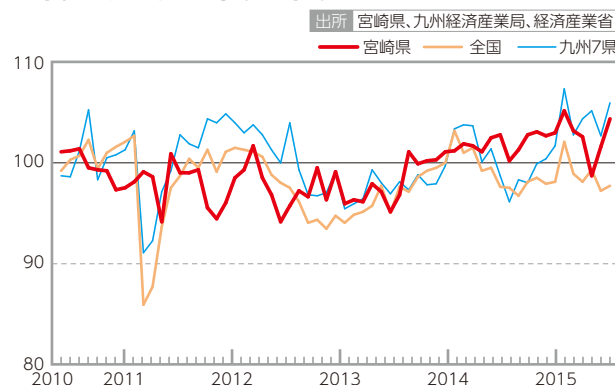
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は104.4と前月比2.8%上昇しました。

主要業種では、焼酎の生産が増加した食料品や、合成樹脂塗料が増産となった化学が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

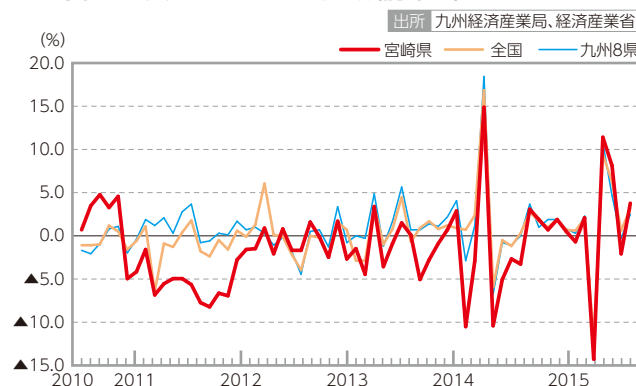


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.8%増の67億円となりました。

気温の低い日が続いたことにより夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



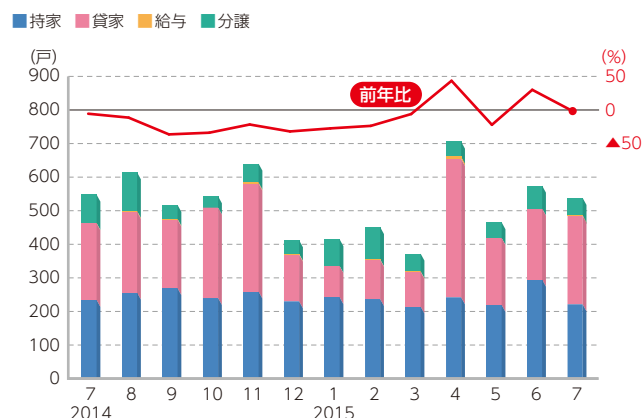
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比1.8%減の542戸となりました。

「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「分譲(マンション)」が前年を下回ったことから、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



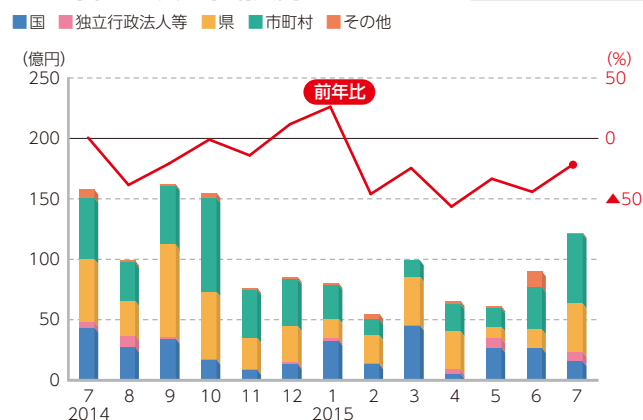
4.公共工事 | 6ヵ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比14.3%減の397件、金額が同22.6%減の124億円となりました。

発注者別では、中学校増改築工事等の発注があった「市町村」以外は大型案件に乏しく、全体でも6ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



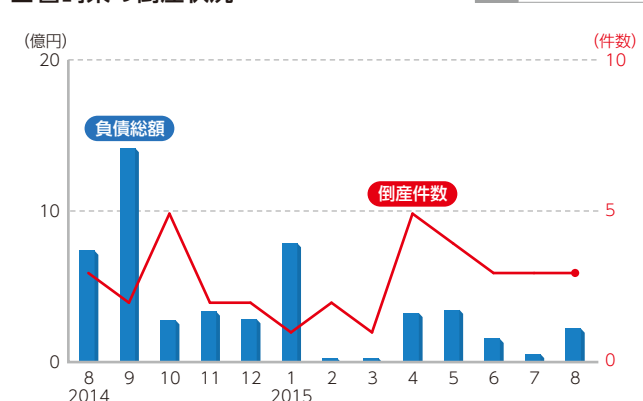
5.企業倒産 | 負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の3件、負債総額が前年同月比70.0%減の約2億円となりました。

製材業で約1億円の倒産が発生しましたが、負債総額、倒産件数ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、底堅く推移しています。

生産は、焼酎の生産が増加した食料品が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、「貸家」「分譲(戸建)」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

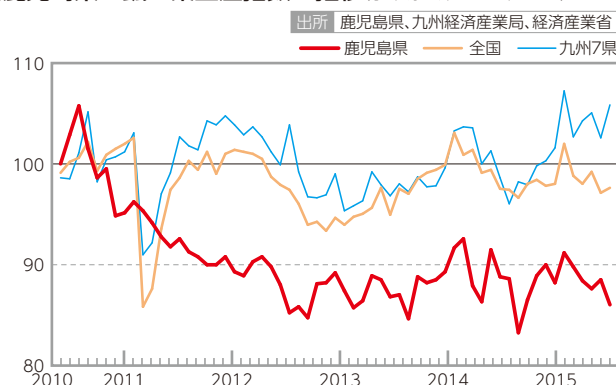
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

6月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は86.0と前月比2.8%低下しました。

主要業種では、スマートフォン向け半導体が減産となった電子部品・デバイスが低下したものの、焼酎の生産が増加した食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

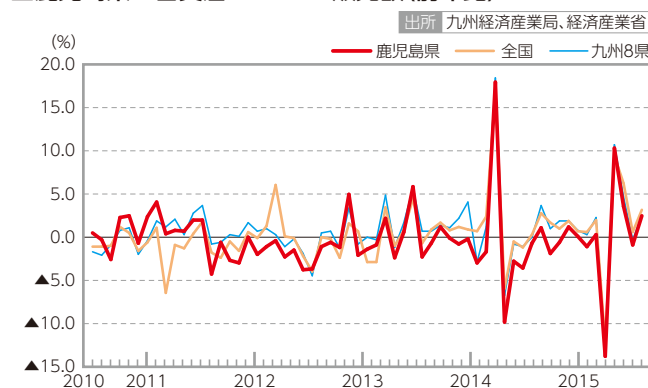


2.個人消費 | 底堅く推移している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.5%増の143億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により夏物衣料が振るわなかったものの、主力の飲食料品が堅調に推移した他、化粧品や宝飾品など高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





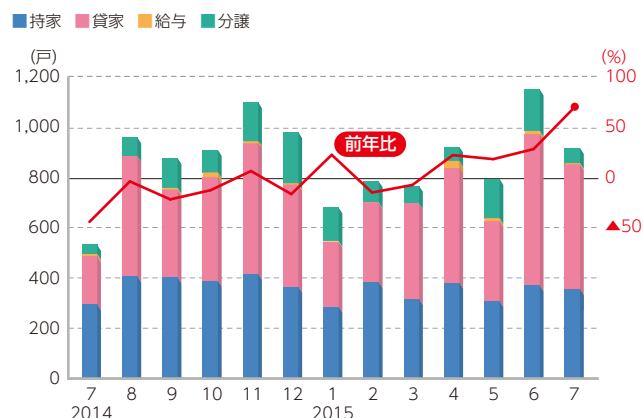
3.住宅建設 | 好調に推移している

7月の新設住宅着工戸数は、923戸と前年同月比72.5%増加しました。

「貸家」「分譲(戸建)」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



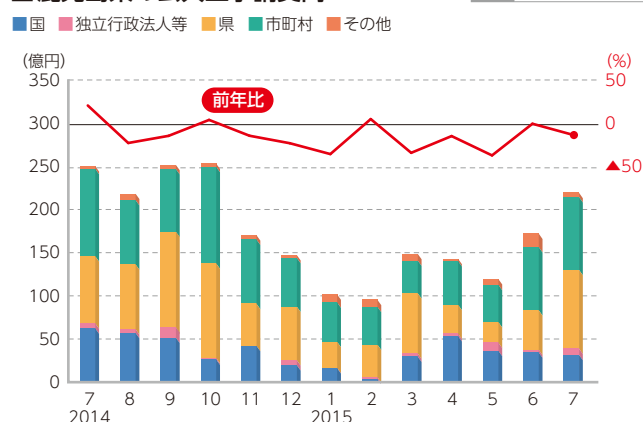
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比1.5%増の739件、金額が同12.2%減の223億円となりました。

発注者別では、大学病院関連工事の発注があった「独立行政法人等」と道路改築工事の発注があった「県」以外は大型案件に乏しく、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



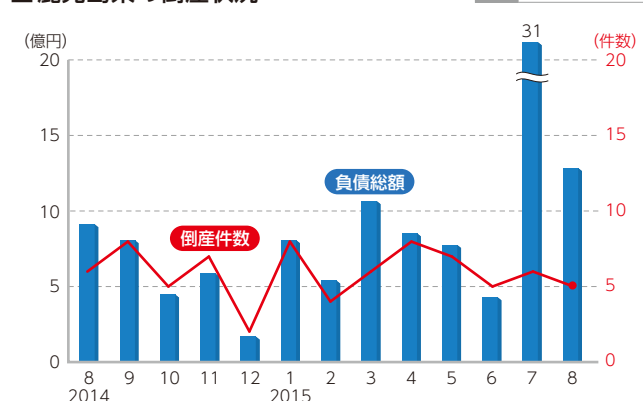
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

8月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.7%減の5件、負債総額が同40.6%増の約13億円となりました。

養殖業で約7億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



全国 経済指標

項目 年月	鉱工業指数(2010年=100)						機械受注金額 (船舶・電力を 除く民需)	貿易			公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)	
	生産指数		出荷指数		在庫指数			輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)								
2011 年	97.2	▲2.8	96.3	▲3.7	104.3	4.3	7.8	▲2.7	12.1	109,755	▲3.4	78,693	3.5	
2012 年	97.8	0.6	97.5	1.2	110.4	5.8	▲0.9	▲2.7	3.8	125,423	14.3	79,685	1.3	
2013 年	97.0	▲0.8	96.9	▲0.6	107.4	▲2.7	5.2	9.5	14.9	141,492	12.8	95,027	19.3	
2014. 6	97.6	3.2	96.4	1.9	110.1	3.1	0.8	▲1.9	8.5	15,855	14.3	9,723	19.5	
7	97.5	▲0.5	96.9	▲0.5	110.7	3.1	7.4	3.9	2.4	16,273	3.5	8,355	4.3	
8	96.7	▲3.0	94.9	▲4.1	111.7	4.7	2.3	▲1.3	▲1.4	11,276	▲8.1	7,837	▲0.3	
9	98.1	1.0	97.9	1.7	111.3	4.1	2.4	6.9	6.2	13,984	▲8.2	8,194	▲5.8	
10	98.5	▲0.5	98.0	▲0.6	111.2	3.9	▲3.5	9.6	3.1	13,161	▲7.4	10,572	22.2	
11	97.9	▲3.7	97.3	▲4.8	112.4	6.6	0.1	4.9	▲1.6	8,437	▲10.4	7,144	▲10.6	
12	98.1	▲0.1	97.1	▲0.1	112.3	6.2	5.6	12.8	1.9	8,944	1.0	6,763	▲17.0	
2015. 1	102.1	▲2.6	102.4	▲2.1	111.8	5.6	2.5	17.0	▲9.1	6,708	▲13.7	7,458	▲6.2	
2	98.9	▲2.0	97.9	▲2.9	113.0	7.0	▲1.4	2.5	▲3.6	7,122	2.3	8,646	10.8	
3	98.1	▲1.7	97.3	▲2.3	113.4	6.2	2.9	8.5	▲14.4	12,755	▲12.4	6,608	▲22.1	
4	99.3	0.1	97.9	0.2	113.8	6.6	3.8	8.0	▲4.1	18,361	4.4	12,801	36.9	
5	97.2	▲3.9	96.0	▲3.2	112.9	3.9	0.6	2.4	▲8.6	11,294	▲14.0	8,852	10.4	
6	98.3	2.3	96.6	1.8	114.6	4.0	▲7.9	9.5	▲2.9	15,564	▲1.8	8,877	▲8.7	
7	97.5	0.0	96.2	▲0.8	113.7	2.7	▲3.6	7.6	▲3.2	14,632	▲10.1	9,864	18.1	
出所	経済産業省						内閣府	財務省			西日本建設業保証		国土交通省	

項目 年月	新設住宅着工戸数					企業物価指数 (2010年=100)		消費者物価指数 (2010年=100)		百貨店・スーパー 販売額		乗用車 乗用車新規登録台数	
	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	億円	前年比(%)	台	前年比(%)
	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)								
2011年	834,215	2.6	0.1	▲4.1	16.2	101.5	1.5	99.7	▲0.3	189,920	▲0.9	2,381,121	▲18.5
2012年	882,797	5.8	2.0	11.4	5.2	100.6	▲0.9	99.7	▲0.0	189,904	▲0.0	3,008,634	26.4
2013年	980,025	11.0	13.9	11.8	6.9	101.9	1.3	100.0	0.4	190,957	0.6	2,865,354	▲4.8
2014.6	75,757	▲9.5	▲19.0	1.8	▲11.9	106.2	4.5	103.4	3.6	15,699	▲1.9	228,550	▲1.8
7	72,880	▲14.1	▲25.3	▲7.7	▲7.7	106.6	4.4	103.4	3.4	16,524	0.3	250,076	0.3
8	73,771	▲12.5	▲22.7	▲3.8	▲10.3	106.5	4.0	103.6	3.3	15,647	2.8	177,390	▲5.9
9	75,882	▲14.3	▲23.4	▲5.7	▲15.3	106.4	3.6	103.9	3.2	14,731	1.7	267,804	▲5.6
10	79,171	▲12.3	▲28.6	▲4.1	1.6	105.5	2.9	103.6	2.9	15,454	1.0	206,084	▲11.2
11	78,364	▲14.3	▲29.3	▲7.4	▲6.0	105.2	2.6	103.2	2.4	16,629	1.9	203,219	▲16.0
12	76,416	▲14.7	▲25.5	▲8.9	▲10.5	104.7	1.8	103.3	2.4	20,738	0.7	197,671	▲11.1
2015.1	67,713	▲13.0	▲18.7	▲10.3	▲11.2	103.3	0.3	103.1	2.4	16,561	0.6	207,210	▲21.5
2	67,552	▲3.1	▲9.1	▲7.5	11.2	103.2	0.4	102.9	2.2	14,416	2.0	249,115	▲16.8
3	69,887	0.7	▲1.4	4.6	▲4.9	103.5	0.7	103.3	2.3	16,498	▲12.3	355,676	▲14.6
4	75,617	0.4	▲2.1	▲1.8	7.2	103.6	▲2.1	103.7	0.6	15,469	9.5	170,098	2.9
5	71,720	5.8	1.1	2.8	18.1	103.8	▲2.2	104.0	0.5	16,284	6.3	180,369	1.2
6	88,118	16.3	7.2	14.6	31.3	103.6	▲2.4	103.8	0.4	15,788	0.6	239,161	4.6
7	78,263	7.4	8.0	18.7	▲9.0	103.4	▲3.0	103.7	0.3	17,055	3.2	245,165	▲2.0
出所	国土交通省					日本銀行		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	完全 失業率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				件	前年比(%)	百億円	前年比(%)	百億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	%						
2011 年	1,138,752	▲11.4	420,538	▲2.2	308,838	▲3.0	0.65	4.5	12,734	▲4.4	59,694	3.5	41,350	1.0
2012 年	1,557,681	36.8	425,005	1.1	313,874	1.6	0.80	4.4	12,124	▲4.8	61,144	2.4	42,126	1.9
2013 年	1,690,171	8.5	426,132	0.3	319,170	1.7	0.93	4.0	10,855	▲10.5	63,879	4.5	43,320	2.8
2014. 6	150,205	3.2	568,874	▲3.9	295,738	▲0.3	1.10	3.7	865	▲3.6	65,086	2.7	43,555	2.7
7	140,687	▲7.5	448,429	▲1.3	311,693	0.4	1.10	3.8	882	▲14.0	64,243	2.3	43,445	2.5
8	103,576	▲15.0	383,294	▲1.4	305,836	▲2.2	1.10	3.5	727	▲11.2	64,407	2.6	43,538	2.6
9	163,388	0.9	341,855	▲2.2	303,614	▲3.7	1.10	3.6	827	0.9	65,100	2.6	44,076	2.7
10	121,646	0.1	404,682	0.9	316,154	▲0.1	1.10	3.5	800	▲16.6	64,460	2.6	43,790	2.9
11	135,933	▲0.1	352,340	▲1.1	306,230	1.7	1.12	3.5	736	▲14.6	65,443	3.5	44,159	3.1
12	161,939	19.0	773,622	2.6	357,772	▲0.2	1.14	3.4	686	▲8.5	65,833	3.1	44,704	3.2
2015. 1	136,405	▲19.4	359,029	0.2	320,674	▲1.6	1.14	3.6	721	▲16.6	65,538	3.1	44,450	3.1
2	163,627	▲14.1	406,800	2.1	291,387	▲1.1	1.15	3.5	692	▲11.5	65,899	3.6	44,603	3.4
3	230,385	▲7.4	364,614	1.7	351,974	▲8.5	1.15	3.4	859	5.5	67,375	3.5	45,195	3.3
4	93,134	▲26.9	384,710	3.1	334,301	1.3	1.17	3.3	748	▲18.2	67,162	3.5	44,721	3.3
5	98,660	▲21.5	327,875	2.2	317,317	8.3	1.19	3.3	834	0.0	67,594	4.4	44,821	3.4
6	125,348	▲16.5	581,279	2.2	293,042	▲0.9	1.19	3.4	824	▲4.7	67,609	3.9	45,015	3.4
7	110,212	▲21.7	472,058	5.3	314,788	1.0	1.21	3.3	787	▲10.8	67,104	4.5	45,085	3.8
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。百貨店・スーパー販売額は、調査対象事業所見直し(2010年7月、2013年7月及び2015年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数で処理した数値。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間の実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		鉄鋼		食料品・たばこ		はん用・生産用機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	101.7	1.7	96.8	▲3.2	98.3	▲1.7	106.1	6.1	109.7	9.7	102.8	2.8	118.0	18.0
2012年	107.2	5.4	91.0	▲6.1	101.2	3.0	100.7	▲5.0	126.7	15.5	108.6	5.6	131.3	11.3
2013年	103.9	▲3.1	89.1	▲2.0	96.5	▲4.6	100.9	0.2	119.6	▲5.6	105.1	▲3.2	141.4	7.7
2014.6	105.0	0.2	94.1	6.9	91.6	▲4.3	125.7	32.3	112.7	▲6.7	105.7	▲0.1	145.1	10.4
7	100.8	▲6.4	92.8	8.8	88.5	▲11.5	111.1	7.6	107.9	▲14.2	101.7	▲7.3	141.5	2.9
8	102.5	▲2.9	90.4	2.1	88.9	▲9.5	120.1	15.3	105.9	▲15.6	104.6	▲2.1	140.8	0.6
9	101.2	▲2.9	93.9	6.9	89.3	▲3.8	97.0	▲7.1	105.3	▲14.0	103.2	▲2.2	140.7	▲2.6
10	103.9	2.3	91.9	3.5	89.8	▲8.9	118.7	24.1	111.2	▲2.3	105.0	3.7	136.6	▲7.1
11	103.3	0.3	95.5	5.6	91.4	0.3	115.4	9.9	107.3	▲7.3	105.3	0.8	134.4	▲10.0
12	103.4	0.2	94.8	0.2	89.6	1.2	109.4	▲7.4	114.1	▲1.4	104.4	▲0.3	133.3	▲14.1
2015.1	115.9	5.8	97.0	8.5	94.3	2.5	112.7	▲0.9	144.7	5.5	115.8	3.9	137.4	▲2.8
2	110.7	1.6	95.7	18.5	91.1	▲0.6	109.9	8.9	130.0	▲0.2	112.5	1.5	136.2	▲1.8
3	109.4	▲1.0	93.4	10.8	88.0	▲4.1	111.9	3.0	131.6	▲4.9	109.3	▲0.8	141.4	10.1
4	108.6	5.7	91.3	3.2	90.2	10.9	128.4	3.8	122.5	10.1	108.1	6.4	149.3	10.0
5	108.0	1.7	91.2	▲4.4	91.8	0.8	114.1	▲3.8	126.4	8.2	111.9	2.6	148.6	6.6
6	109.9	6.0	92.8	▲0.8	91.4	1.6	120.8	▲2.9	125.9	13.5	110.6	6.1	151.0	4.1
7														
出所	福岡県調査統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2010年=100) 福岡市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2011年	0.2	13.9	3,321	▲15.7	2,560	▲0.5	34,945	12.2	▲0.7	8.6	46.1	99.8	▲0.2	656,382	4.3
2012年	2.0	6.9	3,691	11.1	2,825	10.4	36,111	3.3	▲0.3	11.4	▲5.8	99.6	▲0.1	656,838	0.1
2013年	6.6	13.6	4,742	28.5	3,855	36.4	41,335	14.5	12.9	8.5	27.6	99.6	▲0.0	665,355	1.3
2014.6	▲4.0	4.2	385	▲10.0	320	58.3	3,598	3.2	▲11.0	28.7	▲19.9	102.3	3.1	52,787	▲1.2
7	▲2.9	1.0	490	9.7	249	▲28.8	2,520	▲30.4	▲15.8	▲22.6	▲54.1	102.6	3.1	59,021	▲1.1
8	2.9	1.7	386	▲2.4	340	9.0	2,981	▲9.2	▲14.9	15.6	▲32.7	102.9	3.2	54,513	3.0
9	2.1	6.9	579	▲9.9	288	▲44.1	3,160	▲16.5	▲19.2	3.3	▲41.9	103.3	2.8	49,707	▲0.5
10	5.2	7.0	472	▲20.1	296	▲5.5	3,225	▲8.8	▲18.1	15.5	▲43.6	102.7	2.5	54,418	3.3
11	12.2	▲16.6	278	▲6.4	389	▲23.2	2,741	▲32.9	▲31.8	▲48.1	39.8	102.6	2.7	58,132	2.3
12	12.7	6.3	284	▲18.2	256	▲39.4	3,058	▲10.2	▲26.1	▲8.7	9.7	103.1	2.9	75,784	1.2
2015.1	25.3	0.1	211	▲9.4	353	62.7	3,019	▲1.4	▲9.1	▲7.6	31.4	102.7	3.0	57,393	0.2
2	1.2	21.1	261	11.2	339	122.4	2,738	1.5	0.0	27.6	▲37.3	102.8	3.0	49,265	0.9
3	5.5	▲4.5	459	12.1	357	30.7	3,358	▲8.5	12.2	▲15.7	▲12.4	103.3	3.4	57,814	▲13.2
4	13.3	▲0.9	485	▲10.5	406	▲25.6	3,446	8.3	▲4.1	20.7	▲7.1	103.6	1.8	52,789	11.8
5	4.3	▲6.0	338	▲11.1	293	133.5	3,016	▲4.0	▲0.1	▲3.1	▲21.2	104.1	1.9	55,322	5.3
6	12.2	6.8	419	8.7	205	▲35.9	4,630	28.7	11.3	20.7	59.5	103.9	1.6	52,723	▲0.1
7	11.5	2.5	424	▲13.4	290	16.4	3,399	34.9	3.0	65.5	13.0	104.1	1.5	61,356	4.0
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 北九州・福岡 大都市圏				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出			件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2011 年	91,956	▲19.1	46,901	▲12.2	391,156	0.5	298,184	▲1.8	0.58	390	4.0	186,080	2.0	145,885	3.7
2012 年	117,560	27.8	62,719	33.7	409,613	4.7	312,533	4.8	0.70	381	▲2.3	191,215	2.8	152,234	4.4
2013 年	113,170	▲3.7	68,478	9.2	409,344	▲0.1	307,009	▲1.8	0.79	351	▲7.9	199,612	4.4	157,877	3.7
2014. 6	8,772	0.7	5,866	2.9	561,502	4.7	289,016	5.8	0.94	31	0.0	202,094	2.6	158,284	3.9
7	9,797	3.5	5,787	▲7.1	444,282	▲2.6	291,672	▲17.4	0.97	23	▲4.2	200,849	2.4	159,376	4.3
8	7,170	▲4.8	4,354	▲14.8	363,883	▲2.1	280,395	▲11.2	0.98	20	5.3	203,939	3.3	159,866	4.3
9	10,378	▲11.8	6,362	▲3.5	317,951	▲6.0	291,706	▲0.8	1.00	25	▲30.6	201,664	3.1	161,552	4.4
10	8,200	▲10.9	4,659	▲10.1	386,452	8.3	320,073	11.6	1.01	36	▲10.0	202,159	3.4	161,906	4.3
11	7,813	▲19.1	5,088	▲6.7	330,083	▲3.0	287,279	▲0.6	1.03	24	▲27.3	205,436	3.8	162,545	3.9
12	8,091	▲10.9	4,966	▲6.0	623,472	▲18.0	314,158	▲16.1	1.06	28	40.0	206,173	3.3	164,399	4.1
2015. 1	8,252	▲22.5	5,659	▲18.7	319,281	▲6.9	328,196	7.8	1.05	34	36.0	205,276	3.9	164,328	4.5
2	10,348	▲14.1	6,889	▲11.9	355,317	▲8.4	273,899	▲13.0	1.05	30	50.0	207,102	4.3	165,753	5.0
3	13,681	▲13.5	9,279	▲4.3	322,062	▲8.5	355,991	▲9.8	1.04	28	16.7	209,198	4.0	167,047	5.3
4	6,307	▲0.7	3,724	▲29.8	360,381	3.7	326,569	7.4	1.06	37	▲7.5	209,430	3.6	166,308	4.9
5	6,714	▲1.5	3,787	▲30.2	297,401	2.2	319,180	18.1	1.08	27	▲18.2	210,375	3.9	166,577	5.1
6	9,222	5.1	5,070	▲13.6	531,050	▲5.4	297,711	3.0	1.09	45	45.2	209,590	3.7	166,518	5.2
7	9,326	▲4.8	4,219	▲27.1	374,224	▲15.8	320,742	10.0	1.14	26	13.0	208,125	3.6	167,470	5.1
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		食料品		電子部品		はん用・生産用機械		輸送機械		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	100.5	0.4	103.0	3.0	93.6	▲6.4	117.1	17.1	103.2	3.1	100.7	0.7	103.8	3.8
2012年	103.6	3.1	100.5	▲2.5	132.9	42.1	101.2	▲13.6	97.9	▲5.1	100.8	0.1	98.5	▲5.1
2013年	104.9	1.3	100.2	▲0.3	141.0	6.1	104.0	2.7	87.3	▲10.9	100.7	▲0.1	91.6	▲7.0
2014.6	106.5	1.8	97.0	1.1	154.1	▲2.5	105.5	12.8	89.7	12.4	103.0	4.5	85.6	▲5.6
7	111.2	5.5	97.4	▲2.6	179.1	34.9	96.7	▲10.8	86.9	2.0	106.8	6.8	84.8	▲8.6
8	112.2	2.9	98.0	▲2.1	188.7	37.2	96.8	▲23.2	71.4	▲20.8	106.2	1.4	86.3	▲5.7
9	113.0	6.7	93.4	▲8.2	188.0	31.6	109.2	▲3.1	80.7	▲8.1	107.7	7.6	94.0	2.6
10	117.7	9.9	98.3	▲4.9	183.4	24.7	121.8	▲2.1	83.0	▲4.7	116.0	14.0	90.8	▲0.5
11	116.2	4.7	98.3	▲1.4	198.5	25.8	116.3	▲9.9	90.9	▲4.9	113.2	5.6	92.3	▲0.1
12	116.3	7.5	95.2	▲1.2	209.2	44.5	124.0	3.3	82.0	▲13.4	112.6	9.2	91.4	4.0
2015.1	123.0	10.4	93.9	1.6	207.5	65.8	143.3	▲3.5	85.3	▲13.2	119.2	11.0	97.2	12.7
2	115.4	7.9	98.1	3.2	180.3	29.9	116.7	3.3	83.1	▲7.9	110.7	7.6	89.1	14.8
3	107.6	1.6	95.0	▲1.4	174.0	22.2	97.5	▲9.1	78.9	▲12.2	101.9	4.5	93.6	▲1.0
4	121.3	10.7	98.9	4.6	212.6	35.7	114.5	17.6	82.0	▲14.6	116.6	10.3	97.4	11.4
5	119.8	9.2	96.1	▲7.1	243.6	57.6	89.8	▲26.8	71.9	▲16.8	118.6	10.6	93.2	6.7
6	123.7	18.8	98.7	2.7	183.6	21.8	196.7	96.6	76.8	▲12.2	119.1	18.3	103.1	20.4
7														
出所	熊本県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2010年=100) 熊本市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2011 年	4.5	16.8	1,713	▲14.9	1,385	22.8	10,063	13.8	4.7	7.6	112.1	99.5	▲0.5	154,890	▲2.5
2012 年	▲2.3	1.3	1,806	5.4	1,042	▲24.8	11,521	14.5	▲3.8	34.1	21.1	99.1	▲0.4	153,658	▲0.8
2013 年	47.1	4.9	2,575	42.6	1,183	13.6	12,078	4.8	19.3	1.7	▲19.7	99.1	0.0	155,042	0.9
2014. 6	▲31.7	▲1.3	174	▲32.8	95	▲8.6	725	▲41.2	▲22.3	▲52.9	▲45.3	102.6	3.6	12,465	1.2
7	10.7	▲16.4	238	▲0.2	94	▲24.7	1,027	17.4	▲6.6	▲9.4	261.7	102.5	3.2	14,506	2.8
8	8.1	2.1	173	▲23.1	77	▲25.6	855	▲32.2	▲31.3	▲37.5	▲10.4	103.1	3.6	13,175	11.9
9	▲20.3	8.3	250	▲25.5	69	▲37.1	894	1.5	17.2	▲18.9	22.0	103.2	3.6	11,673	4.5
10	▲3.6	▲9.8	264	▲8.8	137	▲0.4	944	▲12.3	▲12.2	▲15.8	12.5	102.7	2.9	12,893	3.6
11	▲3.8	16.6	157	▲21.3	50	▲31.8	797	▲34.7	▲45.2	▲18.6	▲38.9	102.6	2.6	13,697	4.6
12	5.5	21.5	123	▲26.6	96	▲5.3	1,081	24.4	▲12.3	49.9	145.9	102.5	2.3	18,927	4.0
2015. 1	55.2	▲0.5	112	▲5.0	84	41.6	859	22.4	▲1.1	134.9	▲54.1	101.8	2.0	14,277	4.7
2	14.3	30.6	74	▲10.1	130	60.5	785	▲37.5	▲21.1	▲47.7	▲43.9	101.8	2.2	12,516	13.7
3	17.9	▲5.6	181	▲13.5	96	117.5	970	6.5	16.0	▲31.0	▲15.5	102.4	2.3	13,067	▲17.0
4	▲3.9	10.8	104	▲4.9	84	▲48.1	818	▲22.9	▲7.6	▲33.2	▲57.8	103.0	0.7	12,173	6.6
5	25.6	▲20.4	91	▲43.3	42	▲72.5	870	▲14.3	▲11.7	▲36.2	54.1	103.3	0.5	12,570	1.2
6	18.8	▲26.1	132	▲24.5	99	4.1	1,015	40.0	24.0	63.4	12.2	102.9	0.3	11,909	▲4.5
7	14.9	43.9	242	1.5	104	10.3	986	▲4.0	▲3.8	▲8.6	▲1.7	103.2	0.7	14,383	▲0.8
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 熊本市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)		倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円
2011 年	29,430	▲22.7	22,718	▲14.7	351,844	▲6.7	277,713	▲6.5	0.61	110	▲3.5	51,564	1.4	30,903	2.1
2012 年	37,962	29.0	31,789	39.9	396,686	12.7	314,374	13.2	0.68	98	▲10.9	53,225	3.2	31,741	2.7
2013 年	35,900	▲5.4	33,820	6.4	397,409	0.2	299,637	▲4.7	0.85	72	▲26.5	54,720	2.8	32,621	2.8
2014. 6	2,783	0.8	3,264	15.5	494,723	▲11.7	289,510	17.5	0.97	7	40.0	56,518	3.7	33,053	3.7
7	3,085	▲1.2	2,754	▲13.6	456,542	9.6	306,575	15.9	0.99	6	20.0	55,392	3.5	33,097	3.8
8	2,290	▲4.3	2,264	▲5.7	368,576	▲4.7	293,066	10.3	1.01	5	0.0	55,551	3.0	33,134	3.7
9	3,220	▲10.0	3,371	5.5	357,183	19.0	307,205	▲7.4	1.03	5	▲28.6	54,969	2.5	33,632	3.5
10	2,472	▲16.0	2,255	▲1.9	405,166	11.2	329,324	6.1	1.04	6	20.0	54,573	2.0	33,402	4.6
11	2,490	▲20.9	2,602	0.8	349,615	14.1	279,357	▲4.3	1.04	6	20.0	55,139	2.4	33,467	4.3
12	2,368	▲13.4	3,416	37.5	728,744	11.2	360,406	▲15.3	1.06	4	▲20.0	55,705	1.8	33,937	4.0
2015. 1	2,518	▲28.9	2,552	▲20.8	320,769	6.8	290,235	▲0.3	1.05	6	0.0	55,300	2.6	33,696	4.2
2	3,349	▲16.1	3,330	▲7.6	376,801	14.8	282,206	▲3.6	1.05	5	▲44.4	55,319	2.4	33,800	4.1
3	4,191	▲18.0	4,180	▲9.6	335,151	12.7	333,589	▲5.6	1.05	9	350.0	56,070	2.3	34,511	4.6
4	2,105	▲3.7	1,874	▲31.7	347,825	11.6	342,468	7.9	1.09	2	▲66.7	56,269	1.7	33,880	4.9
5	2,160	4.9	1,958	▲30.0	294,614	6.3	294,160	0.6	1.11	5	66.7	56,452	1.3	34,388	4.0
6	2,637	▲5.2	2,512	▲23.0	512,079	3.5	294,030	1.6	1.10	6	▲14.3	57,606	1.9	34,431	4.2
7	3,107	0.7	2,152	▲21.9	483,701	5.9	331,687	8.2	1.11	9	50.0	56,786	2.5	34,601	4.5
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										造船 生産高		電子部品 生産高
	総合		はん用・生産用機械		食料品		電子部品		輸送機械		億円	前年比(%)	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)			
2011年	94.3	▲5.7	99.4	▲0.6	99.8	▲0.2	81.7	▲18.3	101.0	1.0	1,963	0.4	▲21.5
2012年	93.1	▲1.3	65.0	▲34.7	104.8	5.0	81.3	▲0.5	119.8	18.6	1,626	▲17.2	▲16.3
2013年	84.4	▲9.3	84.9	30.7	109.1	4.1	49.2	▲39.5	93.7	▲21.7	1,611	▲0.9	▲2.3
2014.6	83.7	11.5	142.0	99.2	106.7	▲6.8	43.1	▲8.8	80.8	▲10.1	98	▲49.7	▲0.8
7	78.1	▲8.2	130.3	58.8	106.6	1.1	44.7	▲10.6	72.4	▲28.6	131	▲5.0	5.0
8	72.2	▲16.7	111.3	29.5	106.9	1.3	38.7	▲14.1	78.6	▲16.8	144	10.4	25.9
9	75.9	▲14.4	114.8	24.1	108.7	3.7	42.8	▲4.2	72.5	▲31.0	220	75.1	30.6
10	82.3	▲7.3	121.8	18.5	105.5	▲3.2	42.0	9.0	81.6	▲14.1	148	10.3	26.0
11	90.7	▲3.2	111.7	5.7	107.2	▲6.7	54.3	18.9	81.5	▲20.6	123	▲0.2	25.7
12	86.1	▲4.9	123.8	5.5	107.0	▲1.0	42.5	▲10.3	81.2	▲15.6	226	87.2	30.2
2015.1	95.9	4.9	104.2	▲13.6	113.8	2.9	40.5	▲6.7	99.3	7.3	132	0.2	25.1
2	77.6	▲21.6	82.4	▲32.3	105.8	▲1.9	57.1	▲19.8	81.2	▲11.9	142	16.0	20.2
3	84.1	▲4.7	110.9	▲16.1	105.8	2.9	39.5	▲21.0	80.6	▲3.9	149	38.4	▲19.7
4	88.9	0.6	147.9	12.4	118.9	13.0	35.3	▲33.3	73.9	▲9.3	153	13.3	▲16.9
5	90.9	6.9	162.1	27.1	116.5	8.5	33.6	▲27.4	79.2	▲8.8	141	▲1.2	▲1.5
6	80.8	▲3.0	144.3	0.6	114.4	7.7	30.6	▲28.1	81.3	1.1	216	121.1	0.8
7													11.4
出所	長崎県統計課										三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業、日本銀行長崎支店		

項目 年月	貿易		漁業水揚金額		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				観光施設 入場者数 (主要6施設合計)		消費者物価指数 (2010年=100) 長崎市		
	輸出金額	輸入金額							合計	持家	貸家	分譲					
	前年比(%)	前年比(%)	百万円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	千人	前年比(%)	指数	前年比(%)
2011 年	▲12.2	18.5	63,871	11.5	1,590	▲10.4	761	35.9	5,501	0.6	0.9	▲8.2	72.5	2,013	▲10.2	99.5	▲0.5
2012 年	▲14.5	2.4	64,448	0.9	1,601	0.7	803	5.5	6,344	15.3	14.9	22.5	▲7.3	1,995	▲0.9	99.5	0.0
2013 年	▲8.6	9.9	60,044	▲6.8	1,973	23.2	688	▲14.3	6,661	5.0	2.8	9.8	1.1	2,181	9.3	99.7	0.2
2014. 6	▲40.5	29.3	4,430	▲14.6	222	31.9	49	▲19.7	468	▲22.5	▲5.0	▲29.2	▲65.3	144	4.7	102.7	3.4
7	▲57.0	▲4.4	4,502	1.0	204	▲15.1	62	103.2	720	▲2.4	▲11.0	▲18.8	52.8	149	▲6.3	102.7	3.2
8	63.1	7.2	4,157	▲16.0	218	39.6	88	106.5	544	▲6.2	▲7.5	▲13.3	23.2	245	▲9.5	102.9	2.9
9	56.7	▲11.2	4,319	▲4.0	187	▲35.4	95	151.2	585	▲4.6	▲8.4	6.6	▲43.1	182	▲3.6	103.2	2.9
10	227.3	39.3	4,312	▲2.7	170	▲20.6	58	3.3	358	▲25.9	▲35.0	▲32.3	▲22.2	190	▲9.1	103.0	2.8
11	▲23.0	▲25.5	4,772	▲0.0	92	▲37.0	50	30.3	471	13.2	▲10.5	42.3	80.8	230	10.6	102.5	2.0
12	160.9	▲27.9	5,511	▲6.0	90	▲35.1	33	▲60.5	445	▲19.4	▲29.7	▲33.5	305.0	144	6.5	102.8	2.0
2015. 1	84.9	▲14.8	5,888	14.9	90	▲22.4	59	71.0	563	▲7.9	▲17.7	6.8	▲21.4	108	▲11.3	102.5	2.1
2	▲27.9	▲23.6	5,145	26.6	97	▲21.9	24	▲67.1	463	▲0.6	0.8	▲1.0	▲13.6	136	▲8.6	102.6	2.4
3	▲45.0	▲22.9	5,596	25.2	208	▲21.9	45	▲89.0	678	58.0	1.6	232.2	▲60.7	216	▲2.5	102.9	2.5
4	47.5	▲22.5	4,840	▲12.6	205	42.7	130	111.1	400	▲32.0	▲29.1	▲33.3	▲38.5	166	0.1	103.3	1.0
5	▲24.5	7.7	4,873	0.2	69	▲19.7	93	133.1	487	▲18.6	▲12.3	▲24.9	▲20.7	295	9.2	103.7	1.0
6	▲30.3	▲24.1	4,412	▲0.4	149	▲32.7	64	31.2	641	37.0	10.4	69.3	▲5.9	154	7.2	103.3	0.6
7	201.4	▲1.0	3,866	▲14.1	205	0.8	51	▲17.2	609	▲15.4	6.4	2.6	▲63.6	181	21.5	103.3	0.6
出所	財務省		県内主要4魚市場		西日本建設業保証		国土交通省				長崎県観光振興推進本部				総務省		

項目 年月	百貨店・スーパー 販売額		乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 長崎市				有効 求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
			乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	
	百万円	前年比(%)	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件					前年比(%)
2011 年	117,210	▲1.9	18,633	▲21.2	18,210	▲14.8	336,448	▲24.9	271,058	▲13.0	0.58	78	8.3	42,677	1.6	23,035	1.0
2012 年	112,823	▲3.7	23,255	24.8	24,759	36.0	333,216	▲1.0	275,314	1.6	0.64	76	▲2.6	43,379	1.6	23,456	1.8
2013 年	115,478	2.4	21,657	▲6.9	26,688	7.8	391,917	17.6	308,148	11.9	0.73	49	▲35.5	45,357	4.6	24,639	5.0
2014. 6	8,841	▲4.7	1,633	3.4	2,511	4.0	395,452	▲39.7	276,139	1.7	0.85	5	25.0	46,705	3.8	24,757	4.6
7	10,232	▲3.5	1,947	1.6	2,116	▲15.2	360,684	▲4.0	278,303	▲14.3	0.86	2	▲50.0	46,517	4.2	24,946	4.6
8	9,515	0.8	1,391	2.8	1,706	▲6.7	322,407	▲16.1	315,806	▲2.0	0.87	8	33.3	46,701	4.2	25,001	4.6
9	8,404	▲1.0	1,892	▲5.8	2,694	9.7	296,495	▲8.1	390,090	7.6	0.86	4	▲33.3	46,456	4.1	25,023	4.3
10	9,039	0.6	1,601	▲12.2	2,017	8.4	367,288	▲0.8	267,041	▲14.6	0.83	10	400.0	46,238	3.4	25,071	4.4
11	9,727	▲0.3	1,511	▲14.8	2,285	11.8	331,063	15.0	267,826	▲2.7	0.85	3	0.0	46,659	3.3	25,233	4.4
12	12,613	▲0.8	1,562	▲4.8	2,427	10.8	803,794	30.6	384,842	24.2	0.85	4	▲33.3	46,661	2.9	25,473	3.4
2015. 1	9,321	▲2.0	1,709	▲22.2	2,129	▲19.4	350,901	28.9	297,735	0.6	0.89	6	0.0	46,695	3.5	25,471	3.6
2	8,139	▲1.9	1,996	▲17.4	2,317	▲18.2	368,527	22.2	256,109	▲6.7	0.93	4	▲33.3	47,107	3.8	25,520	3.4
3	9,433	▲11.5	2,556	▲17.9	3,179	▲10.5	318,502	21.7	287,428	▲38.5	0.97	3	50.0	47,685	2.6	25,831	3.3
4	8,723	9.3	1,230	▲5.5	1,428	▲33.8	308,929	▲2.5	329,174	29.3	0.96	3	▲62.5	47,651	2.2	25,242	2.9
5	9,130	2.4	1,257	▲1.5	1,518	▲32.4	292,666	5.3	262,414	9.7	1.00	4	▲33.3	47,822	2.3	25,551	2.8
6	8,708	▲1.5	1,612	▲1.3	2,144	▲14.6	504,335	27.5	268,023	▲2.9	0.98	5	0.0	48,119	3.0	25,523	3.1
7	10,367	1.3	1,756	▲9.8	1,749	▲17.3	327,729	▲9.1	273,021	▲1.9	0.97	2	0.0	47,358	1.8	25,678	2.9
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚げ金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。

観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パルシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		一般機械		電子部品		化学		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	100.7	0.7	107.6	7.6	86.1	▲13.9	103.6	3.6	102.0	2.0	98.5	▲1.5	102.1	2.1
2012年	96.1	▲4.6	100.1	▲7.0	74.4	▲13.6	101.8	▲1.8	100.6	▲1.3	93.0	▲5.6	101.8	▲0.2
2013年	92.4	▲3.9	72.4	▲27.7	47.1	▲36.6	92.2	▲9.4	96.3	▲4.3	96.1	3.3	92.8	▲8.8
2014.6	93.4	2.1	60.6	▲18.0	49.7	▲0.6	88.7	▲3.3	90.7	▲6.1	97.2	2.2	71.9	▲23.8
7	97.8	2.7	68.2	▲0.4	44.3	▲0.8	88.9	▲7.3	93.2	▲3.4	100.1	1.1	71.9	▲25.2
8	100.3	6.8	79.9	27.3	55.0	16.7	102.7	7.1	99.8	0.9	102.5	4.7	74.7	▲15.6
9	97.1	3.7	69.0	7.1	42.6	6.6	97.5	▲4.2	99.3	4.3	99.3	2.1	76.6	▲18.1
10	90.3	4.6	69.7	▲4.3	50.6	15.2	87.6	13.9	96.4	2.7	93.1	▲0.7	75.5	▲9.8
11	84.8	0.2	68.2	▲6.1	43.0	▲0.4	74.9	▲8.3	89.2	▲1.8	92.1	▲1.8	75.4	▲10.2
12	87.5	2.2	62.6	▲5.6	48.4	10.0	82.8	0.3	94.1	▲2.7	97.1	4.5	72.9	▲12.4
2015.1	101.9	1.9	84.9	31.8	56.7	13.0	116.1	1.8	88.9	3.5	102.4	2.2	82.5	▲8.6
2	94.6	▲1.7	87.3	▲3.9	49.1	▲1.5	90.3	▲1.2	86.7	▲2.9	103.2	4.9	85.7	▲2.2
3	105.4	2.0	108.4	23.3	56.3	▲1.8	121.9	0.9	98.6	▲1.0	105.2	4.0	95.8	17.9
4	86.4	▲9.5	52.4	▲30.5	47.2	▲8.1	89.2	▲15.4	93.6	0.3	89.6	▲8.1	87.8	9.6
5	92.5	▲9.2	90.2	16.3	47.6	▲8.3	74.7	▲32.0	92.7	▲3.5	95.3	▲8.9	82.7	9.7
6	93.2	▲1.2	67.4	4.4	49.1	0.6	99.0	11.2	91.3	0.6	96.0	▲1.6	83.1	13.6
7														
出所	佐賀県統計分析課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2010年=100) 佐賀市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2011 年	▲39.4	▲12.1	978	▲7.5	662	2.3	4,417	8.4	2.9	10.6	60.9	99.4	▲0.7	66,177	▲2.2
2012 年	15.6	11.4	1,077	10.1	596	▲10.0	4,524	2.4	▲0.8	12.3	▲20.2	99.3	▲0.1	64,216	▲3.0
2013 年	11.7	▲2.1	1,178	9.4	684	14.6	5,568	23.1	23.4	13.5	71.2	99.4	0.2	63,512	▲1.1
2014. 6	▲9.8	▲4.3	120	9.9	63	43.1	482	22.3	▲6.3	39.1	132.1	102.2	3.0	4,877	▲3.7
7	▲89.5	11.7	118	▲33.5	36	▲34.6	433	12.8	▲35.5	96.8	25.9	102.5	3.3	5,454	▲1.4
8	▲12.9	15.0	90	▲14.0	50	18.5	319	▲26.8	▲36.0	48.5	▲78.6	102.9	3.2	5,367	0.9
9	1,789.2	29.9	111	5.3	52	▲19.5	291	▲48.2	▲33.2	▲54.5	▲74.8	102.9	2.8	4,576	▲2.3
10	330.3	35.5	146	▲0.1	71	17.3	398	▲6.1	▲14.9	9.1	▲40.0	103.0	2.9	4,984	▲2.2
11	▲62.4	▲33.0	82	▲5.5	44	▲42.5	338	▲45.3	▲34.2	▲53.3	▲75.6	102.7	2.8	5,234	▲1.7
12	132.4	60.8	79	7.9	85	▲5.8	548	▲12.7	▲14.1	3.2	▲69.4	102.5	2.2	6,883	0.0
2015. 1	2,490.0	▲31.5	89	73.2	28	▲38.6	377	9.6	▲12.2	25.8	177.8	102.0	2.0	5,131	▲1.0
2	▲75.8	35.2	59	72.9	40	▲39.5	381	▲10.8	▲17.0	61.4	▲82.9	101.9	2.3	4,591	1.3
3	148.0	▲16.2	61	▲26.0	34	▲17.8	233	▲33.6	▲6.4	▲64.0	▲46.2	102.4	2.4	5,179	▲13.0
4	▲30.3	▲9.5	177	31.1	92	▲16.1	371	▲29.6	17.4	19.3	▲90.1	102.7	0.9	4,983	11.3
5	▲34.6	▲10.9	50	▲37.2	20	▲77.9	408	9.7	16.4	101.8	▲80.5	103.1	0.7	5,116	4.2
6	▲91.4	▲5.5	84	▲30.2	136	116.2	520	7.9	5.7	19.2	▲26.2	102.9	0.6	5,031	3.2
7	1,014.2	1.4	79	▲33.2	65	81.0	456	5.3	0.0	▲8.1	132.4	103.0	0.5	5,604	2.8
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 佐賀市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)		倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円
2011 年	12,548	▲23.0	11,414	▲11.8	429,542	▲5.8	314,463	▲3.7	0.62	45	▲4.3	21,268	0.8	11,217	0.0
2012 年	15,960	27.2	15,561	36.3	430,581	0.2	322,774	2.6	0.72	57	26.7	21,627	1.7	11,261	0.4
2013 年	15,018	▲5.9	16,696	7.3	436,794	1.4	320,917	▲0.6	0.78	51	▲10.5	22,454	3.8	11,621	3.2
2014. 6	1,154	4.4	1,466	6.9	644,545	11.2	268,254	▲5.7	0.93	4	33.3	22,702	0.6	11,761	3.2
7	1,272	1.6	1,641	3.8	432,307	▲4.0	340,131	9.4	0.91	2	▲71.4	22,569	1.3	11,826	3.5
8	920	▲6.2	1,130	▲2.6	388,864	▲12.7	295,397	▲0.1	0.92	2	▲60.0	22,664	2.3	11,907	3.1
9	1,308	▲8.9	1,596	1.8	376,367	11.6	274,705	1.3	0.91	3	▲66.7	22,260	1.9	11,907	4.3
10	1,177	▲2.5	1,264	▲0.9	420,251	▲8.0	280,643	▲4.4	0.89	4	100.0	22,206	1.3	11,886	4.1
11	1,068	▲18.0	1,609	14.8	366,445	11.3	290,665	▲9.1	0.89	4	33.3	22,478	1.5	11,966	4.0
12	1,004	▲19.2	1,658	22.4	757,088	▲6.3	328,824	▲8.4	0.86	2	0.0	22,662	0.9	12,130	4.4
2015. 1	1,200	▲23.0	1,311	▲28.2	354,123	3.6	334,994	11.4	0.87	3	▲40.0	22,659	2.4	12,084	4.9
2	1,445	▲17.0	1,513	▲17.3	428,934	0.7	307,281	14.0	0.87	3	▲25.0	22,738	2.4	12,108	4.6
3	1,811	▲14.0	2,216	▲3.0	343,162	6.0	342,889	1.2	0.88	1	▲66.7	23,314	2.7	12,261	4.4
4	839	▲4.7	912	▲31.7	417,101	▲5.1	296,732	▲16.5	0.88	2	100.0	23,102	1.4	12,144	4.5
5	924	1.7	993	▲24.4	323,229	▲0.8	296,439	10.5	0.89	2	▲33.3	23,157	1.7	12,349	4.9
6	1,191	3.2	1,248	▲14.9	694,333	7.7	294,933	9.9	0.91	2	▲50.0	23,205	2.2	12,329	4.8
7	1,261	▲0.9	1,059	▲35.5	488,828	13.1	268,232	▲21.1	0.92	2	0.0	23,065	2.2	12,393	4.8
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 大分 Oita

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		鉄鋼		はん用・生産用機械		電子部品		化学		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	100.5	0.4	101.6	1.5	97.8	▲2.2	100.3	0.2	107.3	7.3	98.6	▲1.4	108.4	8.4
2012年	99.9	▲0.6	105.0	3.4	99.7	2.0	111.1	10.8	96.5	▲10.1	99.3	0.7	102.4	▲5.5
2013年	97.3	▲2.6	106.1	1.0	102.7	3.0	84.8	▲23.7	106.6	10.4	95.5	▲3.8	104.0	1.6
2014.6	92.5	▲0.1	104.0	▲1.3	106.2	13.3	87.0	17.7	77.5	▲27.8	91.1	▲0.9	87.9	▲18.5
7	93.3	▲3.2	107.1	▲2.8	104.0	2.0	81.0	4.1	93.5	▲6.5	89.7	▲7.1	91.6	▲12.9
8	93.6	▲4.3	105.0	▲2.9	104.1	▲4.0	77.0	▲2.6	104.2	7.9	90.1	▲6.9	98.7	▲4.7
9	96.8	1.1	102.5	▲3.2	107.9	7.3	82.3	▲5.5	106.9	9.8	94.3	2.6	91.4	▲13.7
10	95.6	▲1.9	105.1	1.1	98.4	▲7.4	85.0	6.7	103.0	▲0.3	91.7	▲4.2	93.7	▲8.2
11	94.9	▲4.5	99.4	▲6.8	104.5	▲15.0	79.5	▲0.2	103.6	3.5	93.9	▲3.8	92.6	▲7.8
12	96.5	1.5	99.3	▲4.0	121.6	21.4	75.9	▲7.9	98.7	▲2.6	92.9	▲0.9	90.6	▲7.9
2015.1	102.4	▲0.1	102.8	▲1.7	110.8	4.1	90.3	▲12.3	106.4	4.7	98.1	▲0.2	93.9	▲2.7
2	101.0	▲1.7	91.7	▲15.2	120.9	14.7	93.6	▲3.6	102.1	▲6.4	97.4	▲0.4	93.9	▲3.2
3	105.3	2.3	103.5	▲2.6	115.3	14.7	95.9	3.1	111.7	29.6	98.7	2.0	93.4	▲0.5
4	104.2	8.5	114.8	15.5	111.8	3.9	98.0	13.9	113.4	51.4	98.5	6.2	98.7	2.9
5	105.7	8.4	109.6	9.3	144.9	24.8	89.0	6.7	123.4	29.3	96.5	0.9	103.2	11.1
6	101.7	11.0	104.7	0.1	128.2	24.0	90.1	4.4	115.9	48.3	97.6	8.1	98.1	11.6
7														
出所	大分県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2010年=100) 大分市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額					合計		持家	貸家	分譲				
	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	13.5	24.5	1,288	▲16.1	958	29.2	5,691	▲1.2	1.9	▲12.3	30.3	99.7	▲0.3	116,446	▲0.5
2012年	▲10.8	▲5.2	1,396	8.3	635	▲33.8	6,670	17.2	1.4	19.6	65.1	99.9	0.2	115,134	▲1.1
2013年	21.5	22.3	1,732	24.1	1,006	58.5	7,431	11.4	16.0	21.9	▲18.8	100.1	0.2	113,980	▲1.0
2014.6	▲23.2	▲0.7	153	4.3	76	▲35.7	556	▲8.4	▲4.0	▲15.4	9.3	103.6	3.8	8,532	▲2.7
7	▲35.0	6.8	135	24.5	86	78.5	559	▲15.7	▲29.7	▲19.3	64.6	103.7	3.5	10,040	▲3.1
8	▲27.3	▲3.8	106	▲13.0	54	▲27.5	368	▲47.4	▲34.5	▲71.0	▲21.6	104.1	3.6	9,138	▲0.5
9	1.0	20.6	199	▲11.9	82	▲59.7	792	39.4	▲15.0	60.8	317.8	104.2	3.2	8,178	▲1.3
10	▲18.3	5.4	164	▲1.3	61	7.3	543	▲13.8	▲15.1	3.8	▲62.5	103.9	2.9	9,076	▲1.0
11	▲14.3	▲4.1	49	▲36.5	88	49.7	387	▲51.6	▲42.4	▲54.0	▲69.4	103.4	2.3	9,596	▲0.6
12	▲2.3	10.9	80	▲27.2	59	▲14.5	469	▲24.5	▲33.9	0.0	▲50.0	103.3	2.3	12,690	▲2.6
2015.1	▲16.2	▲15.9	94	38.3	41	9.0	570	26.7	4.3	2.7	320.0	103.1	2.3	9,349	▲2.9
2	▲14.5	▲32.1	52	13.8	62	99.3	632	▲0.6	▲1.7	▲22.1	161.1	103.0	2.0	8,299	0.0
3	▲4.2	▲18.0	77	▲28.0	78	41.7	536	36.0	18.4	53.9	51.4	103.6	2.4	9,567	▲16.1
4	27.4	▲23.7	266	21.7	46	▲3.1	479	▲24.6	▲29.3	▲52.1	4.6	103.9	0.5	8,355	7.1
5	30.7	▲12.7	96	22.2	98	340.5	521	38.6	25.3	45.0	82.2	104.7	1.0	8,653	0.1
6	22.3	▲7.7	94	▲38.4	86	12.2	629	13.1	▲18.3	20.7	157.4	104.1	0.4	8,238	▲3.4
7	30.5	▲37.6	111	▲17.5	129	50.1	1,011	80.9	40.2	81.4	156.1	104.2	0.5	10,067	0.3
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省				総務省		九州経済産業局				

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 大分市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出			件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)							
2011 年	20,956	▲18.7	15,760	▲12.7	446,998	5.2	320,368	8.9	0.66	66	▲7.0	33,559	2.2	21,078	▲0.5
2012 年	25,785	23.0	21,346	35.4	464,878	4.0	341,720	6.7	0.73	67	1.5	33,721	0.5	21,245	0.8
2013 年	24,796	▲3.8	22,690	6.3	448,318	▲3.6	342,834	0.3	0.78	58	▲13.4	33,422	▲0.9	21,151	▲0.4
2014. 6	1,879	3.6	1,994	9.4	621,106	5.2	273,292	▲17.7	0.89	6	50.0	35,238	1.4	21,771	2.4
7	2,161	3.1	2,159	▲6.0	427,883	▲19.7	286,851	▲9.2	0.90	1	▲83.3	34,721	1.7	21,932	3.2
8	1,648	▲0.6	1,461	▲15.4	373,059	▲15.9	287,111	▲31.8	0.92	4	▲33.3	35,021	1.8	22,032	3.3
9	2,262	▲10.0	2,357	11.8	355,139	▲0.7	301,316	▲4.2	0.93	0	▲100.0	34,553	1.6	22,197	4.0
10	1,886	▲2.7	1,470	▲5.4	395,808	▲10.1	345,502	16.9	0.94	3	▲40.0	34,453	1.5	22,116	3.7
11	1,809	▲17.6	1,843	10.4	396,314	6.0	304,049	▲3.7	0.95	1	▲75.0	35,070	2.2	22,331	3.5
12	1,711	▲12.8	2,692	42.2	782,127	▲0.2	331,714	▲29.0	0.95	4	33.3	35,354	1.8	22,620	4.2
2015. 1	1,939	▲23.7	2,026	▲12.5	350,502	▲7.5	339,518	▲16.1	0.97	7	▲22.2	35,086	2.6	22,612	4.7
2	2,342	▲17.1	2,284	▲8.1	417,788	12.6	330,093	1.7	0.99	7	40.0	35,206	2.3	22,722	4.9
3	3,030	▲14.9	2,850	▲7.3	348,873	1.3	351,038	▲2.6	1.04	7	600.0	35,642	1.3	22,798	4.3
4	1,551	▲0.6	1,285	▲24.7	379,167	12.0	342,420	25.8	1.03	6	100.0	35,521	1.6	22,613	4.3
5	1,470	▲8.4	1,338	▲18.6	384,113	22.7	284,276	▲7.0	1.07	3	▲40.0	35,821	2.0	22,658	3.9
6	1,987	5.7	1,656	▲17.0	492,299	▲20.7	320,132	17.1	1.08	3	▲50.0	35,985	2.1	22,836	4.9
7	2,040	▲5.6	1,574	▲27.1	497,175	16.2	277,458	▲3.3	1.05	6	500.0	35,428	2.0	22,926	4.5
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		電子部品		化学		電気・情報通信		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	97.4	▲2.6	78.3	▲21.7	104.6	4.6	118.9	18.9	96.5	▲3.5	101.4	1.4	111.4	11.4
2012年	98.2	0.8	70.3	▲10.3	101.6	▲2.9	122.1	2.7	104.3	8.1	102.8	1.4	116.5	4.5
2013年	98.2	0.0	76.0	8.1	94.4	▲7.1	131.9	8.0	104.2	▲0.1	105.5	2.6	109.0	▲6.4
2014.6	102.8	10.2	81.1	15.3	101.1	12.0	138.3	5.1	116.9	23.2	105.5	2.6	120.3	10.4
7	100.2	2.2	80.2	9.9	96.7	▲7.8	130.6	▲3.4	108.6	12.5	104.1	▲0.6	118.9	9.7
8	101.3	▲2.2	83.2	▲13.8	97.1	4.0	136.7	0.6	106.1	▲0.7	103.2	▲5.4	118.7	10.0
9	102.8	4.0	85.1	4.1	103.9	10.8	135.4	0.5	107.4	▲0.1	105.8	▲3.5	119.1	10.8
10	103.1	3.4	96.6	21.4	101.6	4.6	133.6	▲0.6	107.2	0.4	105.6	▲0.1	118.4	8.2
11	102.7	1.2	98.9	28.8	101.1	8.0	135.0	1.6	108.4	▲1.7	105.9	▲0.6	119.3	11.0
12	103.0	3.3	103.1	35.9	102.3	2.2	135.8	▲0.1	104.2	▲1.7	106.7	0.6	120.8	12.8
2015.1	105.2	3.0	104.2	37.7	107.9	0.4	131.3	0.4	103.8	▲2.3	104.3	0.4	122.1	12.8
2	103.2	1.2	102.1	35.9	98.7	▲5.1	135.4	0.4	103.8	▲6.5	101.0	▲5.4	120.8	9.1
3	102.6	2.1	102.2	33.2	111.9	▲1.5	139.6	▲2.5	95.1	▲6.6	98.9	▲6.4	126.4	15.9
4	98.7	▲2.4	111.7	44.2	102.1	▲3.7	128.2	▲6.8	90.4	▲17.7	106.4	6.1	126.4	10.1
5	101.6	▲2.0	100.5	27.7	84.4	▲4.5	127.6	▲6.7	102.8	▲10.5	102.9	▲3.3	126.1	8.2
6	104.4	2.5	103.6	28.4	105.8	5.0	128.4	▲6.7	111.4	▲4.4	112.4	7.4	125.3	4.2
7														
出所	宮崎県統計調査課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2010年=100) 宮崎市		百貨店・スーパー 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)	
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)					
2011年	2.4	16.8	1,375	▲6.7	622	▲5.6	6,076	5.9	9.0	1.4	12.1	99.8	▲0.2	75,960	▲2.5	
2012年	14.2	▲11.9	1,366	▲0.7	520	▲16.4	6,754	11.2	0.1	13.8	55.1	99.9	0.1	75,324	▲0.8	
2013年	22.1	0.6	1,695	24.2	735	41.2	7,869	16.5	16.6	14.7	30.9	100.1	0.2	74,743	▲0.8	
2014.6	▲21.0	30.7	169	11.2	36	▲57.0	438	▲4.8	23.9	▲30.8	▲35.7	102.9	3.2	5,657	▲2.7	
7	3.1	18.9	160	0.6	74	37.5	552	▲6.0	▲25.6	9.5	49.1	103.4	3.6	6,461	▲3.3	
8	17.3	65.8	101	▲40.0	72	2.5	619	▲12.2	▲25.6	▲22.7	231.4	103.9	3.5	6,252	3.1	
9	8.7	29.1	165	▲21.7	54	31.3	521	▲39.0	▲23.9	▲44.5	▲65.9	104.2	3.4	5,405	1.9	
10	1.6	34.2	158	▲1.0	73	▲14.0	547	▲36.3	▲30.3	▲19.3	▲80.5	103.9	3.1	5,937	0.7	
11	▲4.3	▲2.9	78	▲14.6	64	27.1	645	▲23.2	▲31.1	2.9	▲61.0	103.4	2.8	6,414	1.9	
12	25.5	38.2	87	12.2	26	▲59.1	415	▲34.3	▲34.5	▲44.4	57.7	103.6	2.7	8,489	0.5	
2015.1	30.3	34.2	82	27.2	20	▲53.5	418	▲29.4	▲10.0	▲52.0	▲33.9	103.3	2.5	6,007	▲0.7	
2	13.8	▲7.0	56	▲47.8	108	178.9	455	▲25.4	▲32.1	▲5.6	▲26.5	103.1	2.5	5,304	2.1	
3	8.2	40.9	101	▲25.5	92	169.2	375	▲6.5	40.3	▲49.5	32.5	103.5	2.3	6,088	▲14.4	
4	3.4	11.0	66	▲58.6	90	83.0	711	46.6	▲4.7	115.0	25.0	103.8	0.8	5,901	11.5	
5	21.3	▲3.5	62	▲34.6	31	▲41.7	469	▲23.7	▲23.0	▲23.3	▲20.3	103.9	0.9	6,184	8.2	
6	38.4	▲4.9	91	▲45.9	42	16.8	579	32.2	10.0	79.0	53.3	103.7	0.8	5,538	▲2.1	
7	15.9	2.0	124	▲22.6	41	▲45.2	542	▲1.8	▲5.5	15.2	▲38.8	103.7	0.3	6,709	3.8	
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省								総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 宮崎市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)		倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円
2011 年	18,199	▲22.9	14,632	▲14.3	374,940	1.3	287,889	▲4.4	0.58	57	▲12.3	25,446	2.4	17,771	3.0
2012 年	23,989	31.8	20,879	42.7	326,592	▲12.9	263,379	▲8.5	0.69	68	19.3	25,954	2.0	18,421	3.7
2013 年	21,773	▲9.2	21,911	4.9	367,510	12.5	293,817	11.6	0.77	38	▲44.1	27,246	5.0	19,859	7.8
2014. 6	1,733	1.5	1,968	▲0.7	537,948	▲15.0	317,899	13.0	0.96	6	100.0	27,993	4.3	20,106	8.0
7	1,794	▲5.5	1,810	▲6.9	332,763	3.9	264,040	3.3	0.94	1	▲80.0	27,669	4.0	20,249	7.9
8	1,512	2.8	1,552	▲7.4	282,635	▲18.0	248,370	▲11.5	0.95	3	▲25.0	27,773	3.8	20,387	7.9
9	1,882	▲7.7	2,058	4.1	269,116	▲13.8	229,192	▲17.7	0.94	2	100.0	27,865	4.4	20,810	9.2
10	1,532	▲14.9	1,553	5.6	318,005	▲11.4	221,251	▲28.5	0.96	5	▲37.5	27,749	4.5	20,672	8.6
11	1,435	▲23.5	1,797	4.6	249,591	▲13.4	285,468	▲12.1	0.98	2	0.0	27,926	4.3	20,998	8.2
12	1,339	▲14.6	1,977	2.3	471,376	▲31.4	291,759	▲31.5	0.99	2	100.0	28,395	4.2	21,550	8.5
2015. 1	1,614	▲29.2	1,805	▲18.2	255,919	▲13.7	251,962	▲24.7	0.97	1	▲66.7	28,205	3.9	21,407	8.3
2	1,929	▲22.9	2,175	▲13.7	354,426	3.7	251,589	▲6.3	0.97	2	▲71.4	28,425	4.2	21,529	8.5
3	2,499	▲22.7	2,602	▲6.4	308,207	21.4	301,847	▲2.0	0.98	1	▲85.7	28,933	4.6	21,862	7.9
4	1,225	▲7.7	1,326	▲21.1	339,393	12.2	275,984	8.9	0.99	5	150.0	29,066	3.8	21,657	8.3
5	1,364	▲4.9	1,320	▲22.5	268,686	▲2.3	281,931	▲3.7	1.01	4	100.0	29,131	3.6	21,890	8.5
6	1,571	▲9.3	1,584	▲19.5	480,832	▲10.6	233,857	▲26.4	1.00	3	▲50.0	29,337	4.8	21,775	8.3
7	1,857	3.5	1,431	▲20.9	319,482	▲4.0	257,721	▲2.4	1.04	3	200.0	28,994	4.8	21,932	8.3
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

項目 年月	鉱工業生産指数(2010年=100)										鉱工業出荷指数 (2010年=100)		鉱工業在庫指数 (2010年=100)	
	総合		電気・情報通信		電子部品		窯業・土石製品		食料品		季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)				
2011年	92.3	▲7.7	82.5	▲17.6	81.6	▲18.4	85.6	▲14.4	98.0	▲2.0	95.4	▲4.6	116.7	16.7
2012年	88.7	▲3.9	106.1	28.7	61.7	▲24.4	78.3	▲8.5	101.5	3.6	94.2	▲1.3	106.4	▲8.8
2013年	87.5	▲1.4	120.3	13.4	49.8	▲19.4	89.7	14.5	102.9	1.3	91.6	▲2.8	121.0	13.7
2014.6	88.8	3.5	125.9	0.5	42.9	▲10.2	84.6	▲2.0	104.3	3.7	88.6	▲0.3	140.6	18.4
7	88.6	1.8	108.4	▲14.5	43.2	▲9.4	83.7	▲0.9	107.7	4.7	90.4	▲1.0	131.5	10.8
8	83.2	▲2.6	114.0	6.7	39.7	▲17.2	92.9	7.5	100.1	▲3.5	86.4	▲5.9	131.8	7.1
9	86.5	▲1.6	107.3	▲19.6	42.7	▲8.2	86.8	2.1	99.5	▲3.0	90.4	▲1.8	122.5	▲2.6
10	88.9	0.8	108.3	▲7.9	46.2	▲1.5	95.8	8.0	101.8	▲1.2	90.2	0.3	123.0	▲3.9
11	90.0	▲0.1	72.9	▲40.5	50.9	9.4	102.8	12.8	102.4	▲1.5	90.6	▲5.7	124.3	1.7
12	88.2	▲0.2	72.9	▲25.5	52.6	15.6	98.1	2.3	102.0	▲2.0	88.4	▲1.8	129.4	1.4
2015.1	91.2	▲1.6	78.1	▲20.3	55.7	19.4	114.5	13.2	104.4	▲4.3	93.5	▲4.1	136.1	6.5
2	89.8	▲3.1	85.9	▲18.8	56.5	20.8	101.6	5.7	104.4	▲4.7	93.2	▲1.9	133.7	1.3
3	88.4	2.5	70.6	▲18.6	55.3	18.6	107.2	24.9	106.1	▲0.3	89.7	▲1.9	130.0	2.9
4	87.6	1.5	90.2	▲16.8	52.1	15.1	104.7	21.5	97.5	▲7.2	88.7	4.1	137.1	▲0.7
5	88.4	▲5.1	93.0	▲16.9	50.2	0.0	105.2	11.8	103.0	▲5.8	91.6	▲4.7	133.7	▲0.8
6	86.0	▲2.2	92.3	▲26.4	46.9	11.6	94.1	12.3	104.5	1.0	82.9	▲5.1	160.1	13.9
7														
出所	鹿児島県統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数					消費者物価指数 (2010年=100) 鹿児島市		百貨店・スーパー 販売額	
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
	前年比(%)	前年比(%)					戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)				
2011年	51.4	7.5	2,006	▲7.8	932	13.5	9,039	4.3	6.0	▲7.0	56.0	99.7	▲0.3	158,623	0.1
2012年	▲25.7	▲5.2	2,376	18.4	1,063	14.0	9,701	7.3	▲3.0	21.8	1.8	99.3	▲0.4	156,609	▲1.3
2013年	81.1	21.6	2,494	5.0	1,075	1.1	11,307	16.6	20.2	17.5	1.4	99.4	0.1	156,589	▲0.0
2014.6	1.2	▲12.5	173	▲15.7	65	▲69.4	888	▲1.8	▲16.1	6.7	50.0	101.9	2.6	11,625	▲3.6
7	19.8	67.4	254	23.0	61	▲33.8	535	▲44.2	▲35.4	▲45.0	▲75.3	102.3	2.8	13,950	▲0.7
8	▲15.5	▲15.9	222	▲22.0	65	▲19.8	965	▲2.8	▲25.8	57.0	▲38.8	102.5	2.7	12,734	1.1
9	908.3	▲17.0	256	▲13.4	84	18.5	882	▲21.2	▲27.5	▲13.1	▲19.0	102.8	2.8	11,257	▲1.9
10	23.5	▲21.4	257	5.6	150	116.2	915	▲11.8	▲17.6	▲1.4	▲35.3	102.8	2.7	12,813	▲0.6
11	13.3	▲26.5	171	▲13.3	106	79.0	1,106	7.8	▲23.5	30.6	136.4	102.2	2.2	13,859	1.2
12	16.2	▲9.3	150	▲22.3	49	▲53.2	986	▲15.8	▲36.1	▲17.4	145.8	102.5	2.4	18,315	0.1
2015.1	▲4.3	▲25.9	103	▲35.3	58	28.0	683	24.4	▲3.4	39.8	116.4	102.1	2.2	12,253	▲1.1
2	▲17.4	▲39.3	97	6.8	58	▲33.8	788	▲14.2	▲7.4	▲20.6	0.0	101.8	2.2	10,706	0.3
3	16.5	▲22.3	151	▲33.8	71	▲33.6	770	▲6.4	▲14.1	39.3	▲60.8	102.5	2.4	13,099	▲13.9
4	▲16.7	▲37.3	145	▲13.7	113	31.4	927	24.1	25.8	26.9	▲26.3	102.9	1.1	12,236	10.4
5	▲21.7	▲4.6	121	▲36.9	60	▲0.6	799	20.0	3.3	20.8	58.6	103.3	1.2	12,804	3.6
6	19.3	▲33.2	175	1.1	92	41.1	1,157	30.3	0.8	40.0	97.6	103.1	1.1	11,526	▲0.9
7	▲0.1	▲40.2	223	▲12.2	82	35.9	923	72.5	19.8	161.8	69.4	103.5	1.2	14,300	2.5
出所	財務省		西日本建設業保証		国土交通省							総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出(勤労者世帯) 鹿児島市				有効求人 倍率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出								
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)		倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円
2011 年	25,305	▲20.9	18,618	▲15.2	457,131	1.1	312,314	▲5.9	0.55	64	0.0	38,496	2.0	27,594	2.3
2012 年	32,261	27.5	26,228	40.9	438,338	▲4.1	331,023	6.0	0.65	72	12.5	39,277	2.0	28,174	2.1
2013 年	30,442	▲5.6	27,432	4.6	465,539	6.2	338,203	2.2	0.71	76	5.6	41,032	4.5	29,574	5.0
2014. 6	2,364	7.5	2,221	5.1	606,828	▲2.0	294,463	8.3	0.75	7	0.0	41,822	2.9	30,050	5.9
7	2,956	19.7	2,293	▲10.8	483,208	▲10.2	339,313	▲15.2	0.75	5	▲70.6	41,316	2.9	30,224	5.8
8	2,192	7.0	1,925	▲8.0	405,388	▲11.0	296,298	▲7.6	0.75	6	0.0	41,843	3.6	30,402	6.3
9	2,724	▲5.2	2,480	▲3.3	384,746	2.6	308,957	0.7	0.77	8	166.7	41,672	3.5	30,625	6.4
10	2,218	▲9.2	1,861	▲3.2	423,829	1.1	330,892	▲1.3	0.78	5	0.0	41,522	3.0	30,887	6.8
11	2,359	▲17.8	2,051	7.6	363,303	▲3.9	295,976	▲10.7	0.80	7	75.0	41,802	3.1	31,271	7.2
12	2,272	▲11.1	2,853	32.3	746,325	▲9.1	352,025	▲5.0	0.81	2	▲71.4	42,403	3.3	31,603	6.9
2015. 1	2,209	▲24.0	2,443	▲6.9	372,460	▲1.1	289,928	▲9.4	0.80	8	0.0	42,195	4.0	31,538	6.8
2	2,524	▲21.2	2,683	▲12.4	415,248	3.9	277,486	▲12.2	0.85	4	▲63.6	42,631	3.9	31,629	6.7
3	3,808	▲14.0	3,462	▲10.5	416,805	18.6	322,134	▲24.7	0.86	6	▲14.3	42,749	3.3	31,743	5.9
4	1,863	0.1	1,669	▲16.2	389,337	9.7	325,575	▲1.7	0.87	8	100.0	43,802	4.0	31,625	5.8
5	1,798	▲7.6	1,698	▲16.1	365,368	8.9	336,126	6.0	0.88	7	40.0	43,505	4.1	31,715	5.8
6	2,321	▲1.8	1,853	▲16.6	570,554	▲6.0	311,587	5.8	0.86	5	▲28.6	43,515	4.0	31,814	5.9
7	2,630	▲11.0	1,846	▲19.5	517,374	7.1	320,520	▲5.5	0.86	6	20.0	42,818	3.6	31,998	5.9
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

シリーズで学ぶ住まいのセミナー



ふくぎん

づくりアレコレカレッジ

大好評!

ブランドキャラクター
「ユーモ」

参加無料

10月!

住生活月間

※国土交通省による住生活月間(10月)にあわせて、住まいのギャラリーでは、10～12月にキャンペーンを行っています。

セミナーにご参加 or
家づくり相談をされたお客様に...



粗品プレゼント!!

先着100名様(お一人様1回限り)

期間:10月1日(木)～12月30日(水)まで
※なくなり次第終了します。

住まいのインテリアコーディネート例展示

期間:10月5日(月)～12月4日(金)

協力: 公益社団法人
インテリア産業協会

1つ参加、全部参加OK!

お金

住宅資金の基礎知識

ライフプラン 住宅ローン 諸費用・火災保険

時間 10:30～12:30

講師 福岡銀行 住宅ローン担当者
保険担当者

10/31^土
C-216

11/28^土
C-220

ダンドリ

住宅購入をスムーズに進める!
手順とポイント

スケジュール 物件・依頼先選び 建築費用

時間 11:00～12:00

講師 住まいのギャラリー建築士

10/15^木
C-214

12/5^土
C-221

デザイン

やさしいインテリア
コーディネート入門

カラー 家具・照明・窓まわり コーディネート体験

時間 10:30～12:30

講師 住まいのギャラリー
インテリアコーディネーター



11/12^木
C-218

片付けがラクになる!
収納のつくりかた

新築・リフォームの収納計画 すっきり片付け

時間 11:00～12:00

講師 住まいのギャラリー建築士



12/8^火
C-222

中古

知っておきたい!
中古購入・リフォームのポイント

★どちらか一方の参加もOK★
2部構成
第1部:中古購入編 物件さがし 築年数別特徴
第2部:リフォーム編 依頼先選び リフォーム最新情報 費用

時間 第1部/10:30～11:10
第2部/11:20～12:10

講師 住まいのギャラリー建築士



10/29^木
C-215

秋の見学ツアー
建築士と行く!

築40年中古マンション
リノベーション見学

リノベーションのポイントミニセミナー ① 見学会
※住宅販売会ではありません。お気軽にご参加ください。

時間 10:15～13:00

講師 住まいのギャラリー建築士
住宅メーカー



11/7^土
C-217

好きなスタイルを
ショールームで見つけよう!

照明 水まわり設備 建築材料

※販売会ではありません。お気軽にご参加ください。

時間 10:30～12:30

講師 住まいのギャラリー建築士
住宅設備メーカー



11/20^金
C-219

会場 福岡銀行本店中2階 住まいのギャラリー

お申込方法など詳細は左のページをご覧ください。

定員 各10名

福岡銀行

平成27年10月7日現在

福岡銀行には 無料で相談できる 建築士がいます!

住まいのギャラリーは、住宅購入やリフォームなどの疑問を建築士に相談できる窓口です。

住まいの“ちょっと相談、
ちょっと質問”受付中!!

購入の流れ 土地のこと 業者の選び方
間取りのこと リフォームのこと インテリアのこと etc...



間取りや完成予想図も
つくります!



書籍やカタログ
サンプルがあるよ!



セミナーで
学べる!

住まいづくりのライブラリーとしてもご利用ください。※住宅の販売・契約は行っておりません。

セミナーのお申込みは

■ふくぎんホームページアドレス

<http://www.fukuokabank.co.jp>

福岡銀行のホームページにアクセスし、「セミナー・キャンペーン・イベント」よりお申込みください。

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ

0120-559-655

携帯・PHSからも
ご利用いただけます。

受付時間／9:00～20:00(但し、銀行休業日は除きます。)

お電話の場合は、上記へ直接お電話いただき、お申込みください。

予約コード(C214など)とテーマをお申し付けください。

【ご注意事項】

- 先着順ですので、お早めにお申込みください。
- 受講票等は送付いたしませんので、ご来場の際は受付にてお名前をお伝えください。
- セミナーの受付は開始時間の30分前からとなります。
- セミナー開始後30分経過すると、受付は終了させていただきます。受付終了後はセミナーにご参加いただけませんので、あらかじめご了承ください。
- セミナーの予定は、予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は福岡銀行のホームページをご覧ください。また、自然災害などによりセミナーの内容変更、中断または中止させていただくことがあります。
- 駐車場については数に限りがございます。公共の交通機関をご利用ください。

お問い合わせ・ご相談は



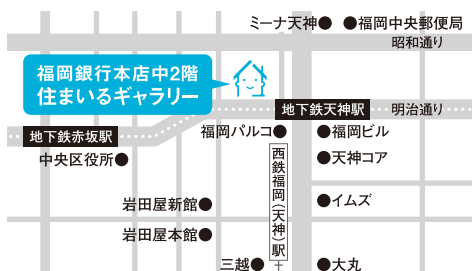
FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店中2階

【営業時間】平日／9:00～17:00 土曜／10:00～17:00

※12月31日～1月3日はお休みさせていただきます。

TEL 092-723-2290



あなたのいちばんに。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ



踊る女性たち

現代と過去が共存する街 マニラ

フィリピンの首都マニラは美しく整備されたショッピングセンターエリアやビルが建ち並ぶ一方、古い街並みも残っています。

マニラの原型は16世紀までさかのぼります。スペイン人初代総督レガスピがフィリピン統治の本拠地として建設した城塞イントラムロス(スペイン語で壁に囲まれた街)などの遺跡や歴史的建造物がいたる所で見ることができます。

香港駐在員事務所 石本

フィリピンは7,109の島々からなり、マレー系を始めとする多民族国家でスペイン、アメリカの統治時代もある国です。





(c) Per-Andre Hoffmann/LOOK-foto / amanaimages



[Data]

フィリピン共和国 基礎データ

面 積	299,404平方km(日本の約8割)
人 口	約9,234万人(2010年)
首 都	マニラ
G D P	2,865米ドル/一人当たり(2014年)
総貿易額	輸出: 3,106百万ドル 輸入: 4,480百万ドル
主要貿易品目	
	輸出: 電子・電気機器
	輸入: 原料・中間財





(北九州市戸畑区)

戸畑高等学校

應援團





魂を込めた応援で選手と一緒に戦う。

あなたのいちばんに。

戸畑高等学校 應援團 60代目 団長



profile

八田 彩水

HATTA AYAMI

Age 17

戸畑高等学校3年

應援團 60代目 団長

九州の達人

Master of Kyushu

| 14 |

頑張るあなたを紹介するコーナーです

女子部員だけの應援團

凛々しい学ラン姿で応援を指揮する戸畑高校應援團60代目団長・八田さん。新入生の時、応援団長が校歌・応援歌を指導する姿に憧れて入部した。

「皆で応援することで連帯感と達成感を味わいました」

戸畑高校では、十数年前から男子部員が減少し、13年前からは女子部員だけで編成される應援團となった。

「試合で応援していると選手と一緒に戦っている気分になり、勝った時にやりがいを感じます」

渾身の思いを込めたエールが、選手の心を奮い立たせる。





 福岡銀行



 熊本銀行



 親和銀行